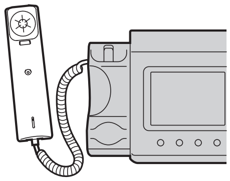
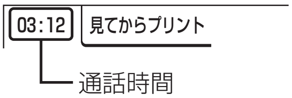
電話をかける

親機で電話をかける

1 受話器を取ってダイヤルする



・まちがい電話を防ぐために「ツー」という音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。
・押したボタンの番号をスピーカーの音声でお知らせすることができます（読上げボイスダイヤル機能 ☞89ページ）。
・通話中は、ディスプレイ左上におよその通話時間を表示します。



2 通話が終わったら受話器を戻す

■ **電話がかけられないときは（☞122ページ）**

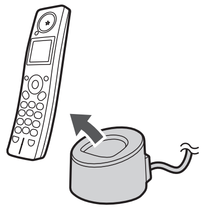
■ **通話中や保留中に突然ファクス受信に切り替わるときは（☞123ページ）**

■ **受話器を取らずに電話をかけるときは**

オンフック を押してからダイヤルします。
スピーカーから相手の声が聞こえますので、天気予報や時報を聞くときに便利です。ただし、相手の方との通話はできません。通話するときは受話器を取ってお話しください。

子機で電話をかける

1 充電器から取ってダイヤルする



2 通話 を押す

・通話ボタンを押してからダイヤルして電話をかけることもできます。
まちがい電話を防ぐために、通話ボタンを押したあと、「ツー」という音を確かめてから正しくダイヤルしてください。
・通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

0:30

3 通話が終わったら充電器に戻す

・充電器に戻さないときは、切ボタンを押します。

■ **「ピーピー」という音が聞こえるときは（☞132ページ）**

■ **子機を取らずに電話をかけるときは**

オンフック 発信 を押してからダイヤルします。
スピーカーから相手の声が聞こえますので、天気予報や時報を聞くときに便利です。ただし、相手の方との通話はできません。通話するときは子機を取ってお話しください。

お知らせ

●ご使用環境によっては子機から電話がかからないことがあります。少し場所を移動してみてください。
●親機や他の子機が使用中のときは、子機で電話をかけることはできません。

電話をかけ直す（再ダイヤル）

相手の方がお話し中などで、もう一度電話をかけ直すときは、再ダイヤルボタンを使って簡単に電話をかけ直すことができます。親機では、最後にかけた番号が1件、子機では以前にかけた番号のうち新しいものが3件まで記憶されています。

親機で電話をかけ直す

1 **受話器を取る**

2 ツーという音が聞こえたら

再ダイヤル **を押す**



・親機で再ダイヤルできる番号は 32 ケタまでです。
・まちがい電話を防ぐために、「ツー」という音を確かめたあと、再ダイヤルボタンを押してください。
・最後にかけた相手の方に電話をかけます。

3 通話が終わったら

受話器を戻す

■ 親機の再ダイヤルの記憶を消去するときは

受話器を置いたまま操作します。

① 再ダイヤル を押す

② キャッチ/消去 を押す（「ピー」と鳴ったあと、再ダイヤルの記憶が消去されます。）

お知らせ

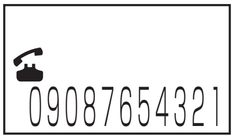
●呼び出し中や通話中に誤ってダイヤルボタンを押すと、次に再ダイヤルしたとき、ちがうところに電話がかかることがあります。このときは、ダイヤルボタンを押してかけ直してください。
●再ダイヤルの番号は、親機と子機で別々に記憶しています。親機でかけた番号を子機で再ダイヤルすることや、子機でかけた番号を親機や他の子機で再ダイヤルすることはできません。
●子機の再ダイヤルの記録を、1件ずつ消去することはできません。
●親機でコピー中、プリント中のときは、子機で電話をかけることはできません。

子機で電話をかけ直す

1 子機を充電器から取って

再ダイヤル/着信記録 **を押す**

2 **で選び、** 通話 **を押す**



・子機で再ダイヤルできる番号は最大24ケタまでです。

3 通話が終わったら

充電器に戻す

・充電器に戻さないときは、切ボタンを押します。

■ 子機の再ダイヤルの記憶をすべて消去するときは

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

① 機能 を押し、 で「サイダイヤルクリア」を選ぶ

② 機能 を2回押す（「ピー」と鳴ったあと、すべての再ダイヤルの記憶が消去され、待受画面に戻ります。）

■ 子機の再ダイヤルの記憶を電話機に登録するときは

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

① 再ダイヤル/着信記録 を押す

② で登録する電話番号を選び、 機能 を押す

③ 名前を入力し、 機能 を押す

● 文字の入力方法は、55～56ページをご覧ください。

親機の電話帳で電話をかける

よく使う相手先を電話帳に登録（☞48ページ）しておくと、簡単に電話をかけることができます。
電話帳は、「読み」の頭文字をもとに、次の順に自動的に並べ換えられます。
数字（0～9）→英字（A～Z）→かな／漢字（50音順）

受話器を置いたまま操作します。

1 （電話帳）を押す

2 （上下左右ボタン）で相手の方を選ぶ

電話帳　登録　5件　（残り95件）
》時報　117
》天気予報　177
》番号案内　104
池田 さとし　03123456789
三浦 サオリ　03987654321

・ディスプレイで相手の方を確かめます。

3 ◯（詳細表示）を押し、（上下左右ボタン）で電話番号（第１番号または第２番号）を選ぶ

<電話帳１件表示>
名前:池田 さとし
読み:ｲｹﾀﾞ ｻﾄｼ
番号①:03123456789
番号②:090123456789

・第１番号に電話をかけるときは、手順２のあと、受話器を取ってかけることができます。

4 受話器を取る

・選んだ相手の方へ自動的に電話をかけます。

5 通話が終わったら
受話器を戻す

■ 途中でやめるときは

相手の方を選んでいるときは ◯（停止） を押します。通話中は受話器を戻します。

■ 電話番号リストの見かた

（電話帳） を押すと、登録されている番号の一覧が表示されます。

電話帳　登録　5件　（残り95件）
》時報　117
》天気予報　177
》番号案内　104
池田 さとし　03123456789
三浦 サオリ　03987654321

第１番号

第２番号が
登録されているとき
表示されます

■ 受話器を取ったあと、電話帳で電話をかけるときは（184や186などをつけて電話をかけるとき）

① 受話器を取る
（184（非通知）や186（通知）などをつけて電話をかけるときは、このあとにダイヤルします。）

② （電話帳） を押し、（上下左右ボタン） で相手の方を選ぶ
第１番号に電話をかけるときは、このあと（決定/FAXスタート）を押してかけることができます。

③ ◯（詳細表示）を押し、（上下左右ボタン） で電話番号（第１番号または第２番号）を選ぶ

④ （決定/FAXスタート） を押す

⑤ 通話が終わったら受話器を戻す

■ 電話帳から名前で検索して電話をかけるときは

電話帳に登録した名前の「読み」を入力して、相手先を検索することができます。

① （電話帳） ◯（検索）と押す

② ダイヤルボタンで名前の「読み」を入力する
「読み」の頭文字や、途中までの文字でも探すことができます。

③ （下ボタン） を押す

④ 目的の相手先が選ばれていないときは、（上下左右ボタン） で選ぶ

⑤ ◯（詳細表示）を押し、（上下左右ボタン） で第１番号または第２番号を選ぶ

⑥ 受話器を取る

⑦ 通話が終わったら受話器を戻す

子機の電話帳で電話をかける

よく使う相手先を電話帳に登録（☞53ページ）しておくと、簡単に電話をかけることができます。
電話帳は、次の順に自動的に並べ換えられます。
数字（0→9）→英字（A→Z）→カナ（50音順）

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 **で相手の方を選ぶ**

イケダ゛ サトシ

・相手の方を選んだあと、 を押すと電話番号を表示して確認することができます。

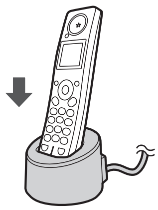
2 **を押す**

0312345678

・通話ボタンが点灯します。
・ダイヤルを始めます。

3 **相手の方とお話しする**

4 通話が終わったら
充電器に戻す



・充電器に戻さないときは、切ボタンを押します。

■ **途中でやめるときは**

を押します。

■ **25ケタ以上の番号をダイヤルするときは**

電話帳には、電話番号を最大24ケタまでしか登録できません。25ケタ以上の電話番号のときは、番号を分けて登録しておけば続けて使えます。
（チェーンダイヤル機能）

① で最初の番号を選ぶ
② を押す
③ を押す
④ で次の番号を選ぶ
⑤ を押す

■ **電話帳から相手先を検索して電話をかけるときは**

電話帳からダイヤルボタンで相手先を検索して電話をかけることができます。検索は、電話帳に登録されている「名前」の頭文字をダイヤルボタンで入力して行います。入力した文字で始まる相手先のうち、最も上にあるものを表示します。

① 電話帳 を押す
② 相手先の「名前」の頭文字をダイヤルボタンで入力する
③ を押す
④ 目的の相手先が選ばれていないときは、 で選ぶ
⑤ を押す
⑥ 通話が終わったら充電器に戻す

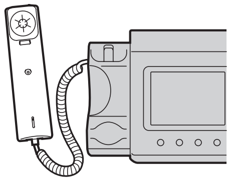
お知らせ
●親機でコピー中、プリント中のときは、子機で電話をかけることはできません。

電話を受ける

親機で電話を受ける

1 着信音が鳴ったら

受話器を取る



・通話中は、ディスプレイ左上におよその通話時間を表示します。

2 通話が終わったら

受話器を戻す

■ **着信音の大きさを変えるときは**
（親機の着信音の大きさを変える ☞29ページ）

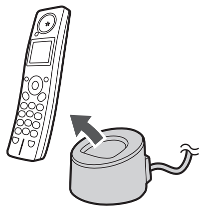
■ **通話中や相手の方が保留中に突然ファクス受信に切り替わるときは（☞123ページ）**

子機で電話を受ける

電話がかかってくると、最初に親機の着信音が鳴って、少し遅れて子機の着信音が鳴ります。

1 着信音が鳴ったら

充電器から取って 通話 を押す



・通話ボタンが点灯します。
・通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

2 通話が終わったら

充電器に戻す

・通話ボタンが消灯します。
・充電器に戻さないときは、切ボタンを押します。

■ **着信音が鳴っているときに音を「切」にするときは**

着信音が鳴っているときに 切 を押すと、音が鳴らなくなります。（親機は鳴り続けます。）

次に電話がかかってきたときは、設定している着信音が鳴ります。

■ **着信音の大きさを変えるときは（子機の着信音の大きさを変える／ 鳴らさないようにする ☞30ページ）**

お知らせ

●子機や充電器を設置するときは、親機やPHS／携帯電話の充電器、その他の電気製品などと一緒に置かないでください。（できるだけ離してください。）子機の着信音が鳴らなくなることがあります。
●ナンバー・ディスプレイを契約すると、電話がかかってきたとき、相手の方の電話番号などがディスプレイに表示されます（☞103ページ）。
●親機でコピーやプリントをしているときは、子機で電話を受けることはできません。また、着信音も鳴りません。

子機だけに電話がかかってくるようにする（優先呼出）

優先呼出を設定する

優先呼出を設定すると、電話がかかってきたとき、設定された子機だけに着信音が鳴ります。

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 （機能）**を押し、**
（カーソル）**で「ユウセンヨビダシ」を選ぶ**

ユウセンヨビダシ

2 （機能）**を押す**

優先呼出
セッテイシマシタ

・「ピー」と鳴り、ディスプレイに 優先呼出 と が表示されて、優先呼出が設定されます。
・「優先呼出を設定しました」と音声メッセージが流れます。

■ **途中でやめるときは**

（切）を押します。

■ **優先呼出を解除するときは**

ディスプレイに 優先呼出 が表示されているときに、左記の操作をします。
「ピピッ」と鳴り、ディスプレイの 優先呼出 が、消えます。
「優先呼出を解除しました」と音声メッセージが流れます。

優先呼出の表示が消えます

カイジョシマシタ → No. 1 10:45

お知らせ

●設定後、9時間経過したときは優先呼出が自動的に解除されます。
●優先呼出を設定できる子機は、１台のみです。他の子機が優先呼出に設定されているときは、「ピピピピ」とエラー音が鳴ります。
●優先呼出を設定したあとで、子機の充電池を交換すると、優先呼出 の表示は消えますが優先呼出は設定されたままになります。優先呼出 を表示させるときは、解除してもう一度設定し直してください。
●優先呼出を設定しているときは、親機や他の子機で電話を受けることはできません。
●優先呼出を設定していても、留守設定時は留守機能が働き、親機で自動応答します。
●親機でコピーやプリントをしているときは、優先呼出を設定していても、子機で電話を受けることはできません。また、着信音も鳴りません。

通話中にお待たせする（保留）

通話中、相手の方をお待たせするときに、メロディーを流します。（曲名：「ビューティフル・ドリーマー」）

親機で通話中にお待たせする

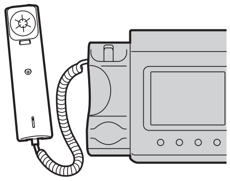
1 通話中に

内線/保留 ◯ を押して、受話器を戻す

・保留メロディーが流れ、お互いの声が聞こえなくなります。

2 再び通話するときは

受話器を取る



・保留メロディーが止まり、お話しできるようになります。
・受話器を戻さなかったときは、もう一度、内線／保留ボタンを押すと、再び通話できます。

子機で通話中にお待たせする

1 通話中に

内線/クリア 保留 を押す

・保留メロディーが流れ、お互いの声が聞こえなくなります。
・通話ボタンが点滅します。

2 再び通話するときは

通話 または 内線/クリア 保留 を押す

・保留メロディーが止まり、お話しできるようになります。
・通話ボタンが点灯します。

■ **保留中に他の電話機で電話に出るときは**
（ひとり転送 ☞47ページ）

親機と子機の間でお話しする（内線通話）

親機から子機を呼び出してお話しする

親機から子機を呼び出して、お話しします。

1 親機

受話器を取って 内線/保留 を押し、子機の内線番号を押す

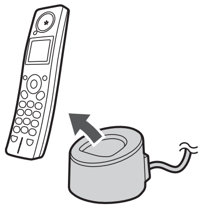
（例）No１のとき 1

・子機の内線番号は子機のディスプレイに表示している番号（No1やNo2）です。
・増設したすべての子機を呼び出すときは、✱ を押します。

2 子機

着信音が鳴ったら

充電器から取って 通話 を押す



・通話ボタンが点灯します。

3 親機 子機

お話しする

4 **通話が終わったら**

親機 **受話器を戻す**

子機 **充電器に戻す**

・充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

■ **親機と子機の間で通話中に外から電話がかかってきたら**

親機のスピーカーや子機の受話口からそれぞれに着信音が聞こえます。

親機で話すには

① 受話器を戻す（内線通話が切れます。）
② 受話器を取る（外の相手の方と通話できます。）

子機で話すには

① 切 を押す（内線通話が切れます。）
② 子機の着信音が鳴り始めたら、通話 を押す（外の相手の方と通話できます。）

子機から親機を呼び出してお話しする

子機から親機を呼び出してお話しします。

1 子機

子機を充電器から取って

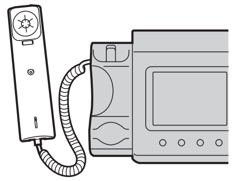
内線/クリア 保留 を押し、「ナイセン：」と表示されたら親機の内線番号(ワ 0)を押す

・通話ボタンが点滅します。

2 親機

着信音が鳴ったら

受話器を取る



3 親機 子機

お話しする

4 通話が終わったら

親機

受話器を戻す

子機

充電器に戻す

・充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

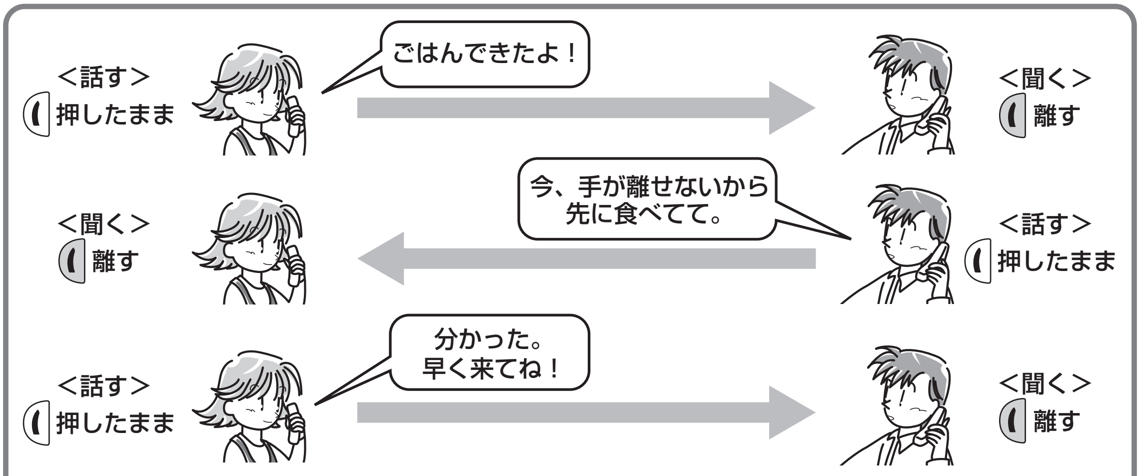
お知らせ

●内線通話では、保留はできません。
●内線通話中に、子機が親機に近づきすぎると、「ピー」という音が出ることがあります。
●内線通話の着信音色を変えることはできません。
●子機の着信音量を「キリ」に設定していても、内線通話の着信音は「ショウ」の大きさで鳴ります。
●親機の着信音量を「切」に設定していても、内線通話の着信音は最小の大きさで鳴ります。

子機と子機の間でお話しする（トランシーバー方式子機間内線通話）

UX-F50CWをお使いのときや、トランシーバー方式の子機間内線通話に対応している子機（CJ-KS80、CJ-KS60、CJ-KS50）を増設してお使いのときは、子機と子機で通話をすることができます。

トランシーバー方式とは、一人ずつ交互に通話する方式です。同時にはお話しできません（一方で話している間は、相手の声は聞こえません）。相手側にメッセージを伝えるときは、側面の（ を押したまま話し、**伝え終わったら（ を離します。**下図のように、交互にこの操作をくり返して通話します。



※メッセージの最後に「どうぞ」など一言添えると、よりスムーズにお話しできます。

1 子機

子機を充電器から取って 内線/クリア 保留 を押し、「ナイセン：」と表示されたら呼び出したい子機の内線番号を押す

ナイセン： 2

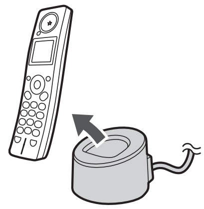
例：子機２を呼び出したとき

・通話ボタンが点滅します。
・呼び出し中は「ププププ…」と鳴ります。

（例）呼び出された子機がCJ-KS60の場合

■呼び出された子機の操作■

着信音が鳴ったら
充電器から取って 通話 を押す



●「プップッ　プップッ」と鳴ります。

2 子機

呼び出した子機の方が電話に出たら
（「プップッ プップッ」と鳴る）

側面の（ を押し続けながらメッセージを伝える

ナイセン： 2 ソウワ

・「ピポッ」と鳴り、（ を押している間、メッセージを伝えることができます。
・相手の方の声は聞こえません。

■呼び出された子機の操作■

メッセージが聞こえる

ナイセン： 1 ジュワ

●こちらの声は相手の方へは聞こえません。

次ページへ→

子機と子機の間でお話しする（トランシーバー方式子機間内線通話）

→つづき

3 子機

メッセージが終わったら

を離す

・「ピポッ」と鳴ったあと、「プップッ プップッ」と鳴ります。

4 子機

相手の方が を押したら
（「プップッ プップッ」と鳴らなくなります）

お話しを聞く

ナイセン: 2 ジュワ

・こちらの声は相手の方へは聞こえません。

■呼び出された子機の操作■

相手の方がメッセージを終えて を離したら（「プップッ プップッ」と鳴る）

側面の を押しながらメッセージを伝える

ナイセン: 1 ソウワ

●「ピポッ」と鳴り、押し続けている間、メッセージを伝えることができます。
●相手の方の声は聞こえません。

■呼び出された子機の操作■

メッセージが終わったら

を離す

●「ピポッ」と鳴ったあと、「プップッ プップッ」と鳴ります。

5 **手順２～４をくり返してお話しする**

6 子機

通話をやめるときは

子機を充電器に戻す

・どちらの子機からでも通話をやめることができます。
・充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

■ お話し中に電話がかかってきたときは

呼び出し中や両者がトランシーバーボタンを押していないとき

内線通話が切れ、通話ボタンを押すと電話に出ることができます。

どちらかがトランシーバーボタンを押してお話ししているとき

お話を聞いている方の受話口から着信音が聞こえます。
相手がメッセージを伝え終えてトランシーバーボタンを離したあと、切ボタンを押してから通話ボタンを押すと、電話に出ることができます。

お知らせ

●相手の方のお話しを聞いているときは、トランシーバーボタンを押さないでください。通話が切れることがあります。
●子機間でのトランシーバー方式内線通話は親機を経由して行います。子機と子機が近くても、親機から離れすぎると通話できなくなります。
●増設子機CJ-KS4／CJ-KS7をご使用のときは、子機間ひと声通知ができます。（☞91ページ）

電話をとりつぐ（とりつぎ転送）

親機から子機へ電話をとりつぐ

1 親機

通話中に

内線/保留 を押し、子機の内線番号を押す

内線/保留 ▶ 1あ

（例）子機１のとき

・相手の方には、保留メロディーが流れます。
・子機の内線番号は子機のディスプレイに表示している番号です。
・子機を増設しているときは、続けて他の子機の内線番号を押して呼び出すことができます。
・増設されているすべての子機を呼び出すときは 内線/保留 ＊ と押します。

2 子機

着信音が鳴ったら

充電器から取って 通話 を押す

・通話ボタンが点灯します。

3 親機

電話をとりつぐことを伝えて

受話器を戻す

・子機と外の相手の方がお話しできます。

■ **呼び出しても子機が出ないときは**

以下のどちらの操作でも、外線通話に戻ることができます。

（操作方法１）

内線/保留 を2回押す

（操作方法２）

受話器を一度戻してから取り上げる

子機から親機へ電話をとりつぐ

1 子機

通話中に

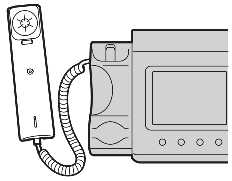
内線/クリア 保留 を押し、親機の内線番号（ワ ◎）を押す

・通話ボタンが点滅します。
・相手の方には、保留メロディーが流れます。

2 親機

着信音が鳴ったら

受話器を取る



・子機とお話しできます。

3 子機

電話をとりつぐことを伝えて

充電器に戻す

・充電器に戻さないときは切ボタンを押します。
・親機と外の相手の方がお話しできます。

■ **呼び出しても親機が出ないときは**

内線/クリア 保留 を2回押すと、外線通話に戻ることができます。

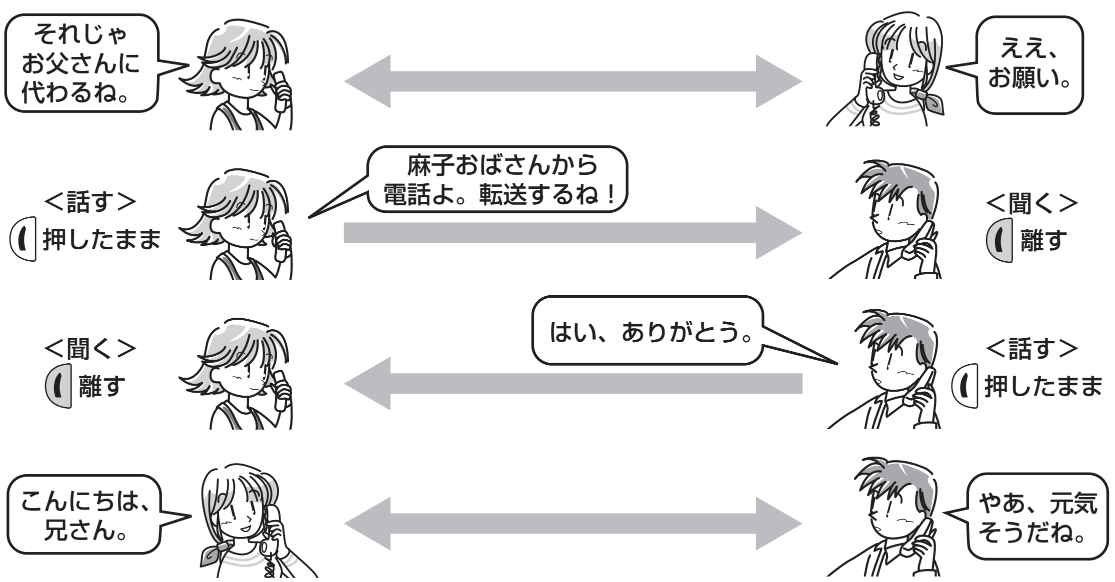
お知らせ

●親機の着信音量を「切」に設定していても、内線通話の着信音は最小の大きさで鳴ります。
●子機の着信音量を「キリ」に設定していても、内線通話の着信音は「ショウ」の大きさで鳴ります。

子機から子機へ電話をとりつぐ（トランシーバー方式転送）

UX-F50CWをお使いのときや、トランシーバー方式の内線通話に対応している子機（CJ-KS80、CJ-KS60、CJ-KS50）を増設してお使いのときは、子機で受けた電話を他の子機へトランシーバー方式で転送することができます。

トランシーバー方式とは、一人ずつ交互に通話する方式です。同時にはお話しできません（一方で話している間は、相手の声は聞こえません）。相手側にメッセージを伝えるときは、側面の を押したまま話し、伝え終わったら を離します。下図のように、交互にこの操作をくり返して通話します。



※子機間でお話ししているときは、メッセージの最後に「どうぞ」など一言添えると、よりスムーズにお話しできます。

1  子 機

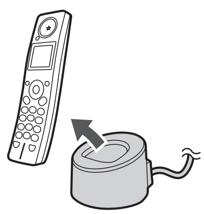
子機で外線通話中に （内線/クリア 保留）を押し、呼び出したい子機の内線番号を押す

・通話ボタンが点滅します。
・呼び出した子機が応答するまで「ププププ…」と鳴ります。
・外線通話中の相手の方には保留メロディーが流れます。

（例）呼び出された子機がCJ-KS60の場合

■呼び出された子機の操作■

着信音が鳴ったら
充電器から取って
（通話）を押す



●「プッブッ　プッブッ」と鳴ります。

次ページへ→

→つづき

2 子機

呼び出した子機の方が電話に出たら
（「プップッ プップッ」と鳴る）

側面の (を押しながら
電話をとりつぐことを伝える

・「ピポッ」と鳴り、押し続けている間、メッセージを伝えることができます。
・相手の方の声は聞こえません。

■呼び出された子機の操作■

メッセージが聞こえる

ナイセン: 1 ジュワ

●こちらの声は相手の方へは聞こえません。

3 子機

メッセージが終わったら

(を離す

・「ピポッ」と鳴ったあと、「プップッ　プップッ」と鳴ります。

■呼び出された子機の操作■

相手の方がお話しを終えて (を離したら（「プップッ　プップッ」と鳴る）

側面の (を押しながら
メッセージを伝える

●「ピポッ」と鳴り、(を押し続けている間、メッセージを伝えることができます。
●相手の方の声は聞こえません。

4 子機

相手の方が (を押したら
（「プップッ プップッ」と鳴らなくなります）

お話しを聞く

ナイセン: 2 ジュワ

・こちらの声は相手の方へは聞こえません。

■呼び出された子機の操作■

メッセージが終わったら **(を離す**

●「ピポッ」と鳴ったあと、「プップッ　プップッ」と鳴ります。

5 **さらに、子機間でお話しするときは、手順２～４をくり返す**

6 子機

子機を充電器に戻す

・充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

■呼び出された子機の操作■

保留メロディーが聞こえたら

通話 または 内線/クリア 保留 を押す

●外線の相手の方と通話できます。

■ **呼び出している子機が出ないときは**

以下の操作で外線通話に戻ることができます。

① 内線/クリア 保留 を押す

② 内線/クリア 保留 または 通話 を押す

お知らせ

●相手の方のお話しを聞いているときは、トランシーバーボタンを押さないでください。通話が切れることがあります。
●トランシーバー方式内線通話は親機を経由しています。子機と子機が近くても、親機から離れすぎると通話できなくなります。
●増設子機CJ-KS4／CJ-KS7をご使用のときは、子機間ひと声転送ができます。（☞91ページ）

電話を自分ひとりでとりつぐ（ひとり転送）

かかってきた電話を自分ひとりで親機から子機、子機から親機にとりつぐことができます。
また、子機を増設されたときは、子機から他の子機へとりつぐこともできます。

親機から子機へとりつぐ

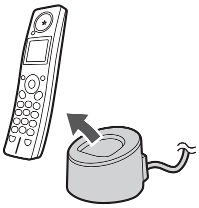
1 親機

親機で通話中に 内線/保留 を押し、受話器を戻す

保留中

2 子機

充電器から取って 通話 を押す



・通話ボタンが点灯して相手の方とお話しできます

子機から親機へとりつぐ

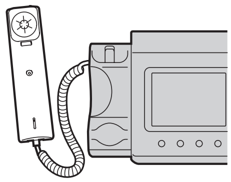
1 子機

子機で通話中に 内線/クリア 保留 を押し、充電器に戻す

・充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

2 親機

着信音が鳴ったら受話器を取る



・相手の方とお話しできます。

子機から他の子機へとりつぐ

1 子機

子機で通話中に 内線/クリア 保留 を押し、充電器に戻す

・充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

2 他の子機

充電器から取って 通話 を押す

・充電器に置いていないときは、そのまま通話ボタンを押します。
・クイック通話を「ON」にしているときも通話ボタンを押します。
・通話ボタンが点灯して相手の方とお話しできます。

親機の電話帳の登録／修正／消去

親機の電話帳に登録する

よく利用する電話番号を、電話帳に登録しておくことができます。親機には最大100人分の番号を登録できます。１人につき２つの番号を登録できるので、自宅と携帯電話の番号を両方登録したいときに便利です。

受話器を置いたまま操作します。

1 ◯（登録）［7ま］［1あ］と押す

2 名前を入れる
（最大全角10文字／半角20文字）

```
<   名前   > [漢/かな]
池田 さとし▌


>
```

・文字の入力方法は51～52ページをご覧ください。
・名前の入力を省略するときは、決定/FAXスタートボタンを押して手順5に進みます。
名前を入力しないで電話番号を登録すると、名前のところに電話番号（第１番号）が表示されます。

3 （決定/FAXスタート）を押す

```
<   読み   >    半[カナ]
ｲｹﾀﾞ ｻﾄｼ▌


>
```

・「読み」を表示します。変更があれば修正します。「読み」は半角文字で最大20文字まで入力できます。
・名前に「。」や「、」があるときは、半角のスペース（空白）に変わっています。

4 「読み」が正しければ
（決定/FAXスタート）を押す

5 電話番号（第１番号）を入れる
（最大32ケタ）

```
< 第1番号 >
NO.=03123456789
```

・番号を入れまちがえたときは、取消ボタンを押してもう一度入れ直します。
・ナンバー・ディスプレイをご利用の方で、電話帳に登録した相手の方を名前で表示させるとき（☞103ページ）や着信鳴り分けをさせるとき（☞108ページ）は、必ず市外局番から登録してください。

6 （決定/FAXスタート）を押す

7 電話番号（第２番号）を入れる
（最大32ケタ）

・第２番号の入力を省略するときは、この手順をとばして手順8に進んでください。

8 （決定/FAXスタート）を押す

・続けて登録するときは、［1あ］を押すと名前入力の画面になります。

9 ◯（停止）を押す

■ **途中でやめるときは**
◯（停止）を押します。

■ **１つ前に戻るときは**
◯（戻る）または◯（取消）を押します。

■ **登録した内容を確認するときは**

① 電話帳 を押す

② で確認したい相手の方を選んだあと、

（詳細表示）を押す

③ 確認後、停止 を押す

■ **電話番号リストの見かた**

電話帳 を押すと、登録されている番号の一覧が表示されます。



第１番号

第２番号が登録されているとき表示されます

電話番号リストの表示中に（新規登録）を押すと、電話帳に新しい相手先を登録することができます。（新規登録）を押したあとは、「親機の電話帳に登録する」（☞48ページ）の手順2からの操作をしてください。

■ **親機の電話帳の内容をプリントするときは**

・記録紙をセットして、待受画面で（登録）

9ら 2か 2か と押します。

・電話番号リストの表示中に コピー/印刷 を押します。

■ **親機の電話帳の内容を子機にも登録するときは（☞57ページ）**

■ **ポーズについて**

・電話番号の入力時に 再ダイヤル を押すと、約３秒間の待ち時間（ポーズ）ができます。ポーズを入力するのは、構内交換機から０発信するときだけにしてください。
それ以外のときにポーズを入力すると、正しく電話がかからないことがあります。

・子機に電話帳を転送したとき、子機でナンバー・ディスプレイを利用していても番号が表示されません。

・ディスプレイにはー（ハイフン）で表示されます。

お知らせ

●親機の電話帳には、あらかじめ「≫時報　117」、「≫天気予報　177」、「≫番号案内　104」の3件の電話番号が登録されています。あらたに登録できるのは97人分です。100人分登録したいときは、この内容を消してください。

●まちがい電話を防ぐため、番号を電話帳に登録するときは、ディスプレイを見ながら正しく登録してください。

●市外局番の前に「184」、「186」などの番号を登録すると、ナンバー・ディスプレイご利用時の名前表示（☞103 ページ）や着信鳴り分け（☞108ページ）が働かなくなります。

●電話帳に名前を入力しなかったときは、電話番号が名前として登録されます。

●着信記録から電話番号を選び、電話帳に登録することができます（☞107ページ）。

親機の電話帳を修正する

登録した電話帳の番号や名前を修正することができます。

1 電話帳 を押す

2 で修正する相手の方を選ぶ

3 ◯（詳細表示）を押したあと、◯（修正）を押す

<　名前　>［漢/かな］
池田 さとし
>

4 名前を入れ直し、決定/FAXスタート を押す

・名前を修正しないときは、そのまま決定/FAXスタートボタンを押してください。

5「読み」を入れ直し、決定/FAXスタート を押す

・「読み」を修正しないときは、そのまま決定/FAXスタートボタンを押してください。

6 電話番号（第１番号）を入れ直し、決定/FAXスタート を押す

・第１番号を修正しないときは、そのまま決定/FAXスタートボタンを押してください。

7 電話番号（第２番号）を入れ直し、決定/FAXスタート を押す

・第２番号を修正しないときは、そのまま決定/FAXスタートボタンを押してください。

8 停止 を押す

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **一つ前に戻るときは**

◯（戻る）または ◯（取消）を押します。

親機の電話帳を消去する

登録した電話帳の内容を１件ずつ消去することができます。

1 電話帳 を押す

2 で消去する相手の方を選ぶ

電話帳　登録　5件　(残り95件)	
》時報	117
》天気予報	177
》番号案内	104
池田 さとし	03123456789
三浦 サオリ	03987654321

3 キャッチ/消去 を2回押す

4 停止 を押す

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **一つ前に戻るときは**

◯（戻る）を押します。

■ **親機の電話帳をすべて消去するときは**

（☞136ページ）

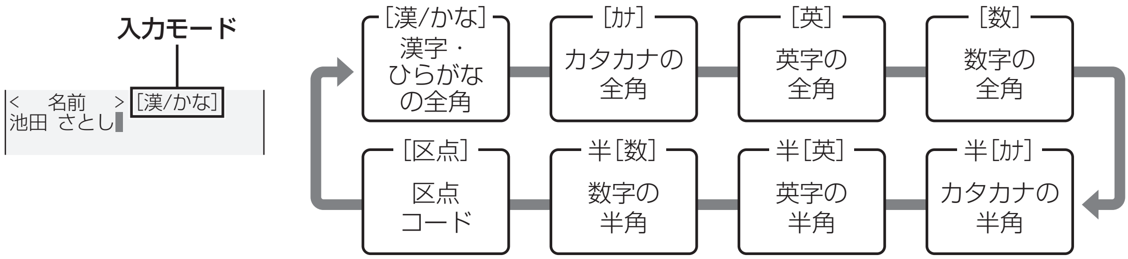
親機で文字を入力する

親機では、文字の入力モードを以下の８種類から選ぶことができます。
[漢/かな]／[ｶﾅ]／[英]／[数]／半[ｶﾅ]／半[英]／半[数]／[区点]
文字の入力は、ダイヤルボタンで行います。「文字入力一覧表（親機）」（☞52ページ）をご覧ください。

親機での文字入力のしかた

1 ◯（文字切替）を押して入力モードを選ぶ

・◯（文字切替）を押すごとに、入力モードが切り替わります。
・[区点]モードでは、４ケタの区点コード（☞142～147ページ）を入力して漢字などを呼び出します。



2 ダイヤルボタンで文字を入力する

・ボタンを押すごとに文字が切り替わります（[数]、半[数]では１ボタンにつき１文字）。

例：[漢/かな]モードの [1] の場合　あ→い→う→え→お→ぁ→ぃ→ぅ→ぇ→ぉ

・「いえ」のように、同じ文字に割り当てられている文字を続けて入力するときは、文字を入力したあと、◯ を押してカーソルを移動させてから、次の文字を入力します。

（入力例）

[漢/かな]	い [1]（2回） け [2]（4回） だ [4]（1回）[＊]（1回）	ひらがなのまま入力 ➡ ◯（採用）を押す 漢字に変換して入力 ➡ ① ◯（変換）を押す ②「池田」が表示されたら ◯（採用）を押す
[ｶﾅ] 半[ｶﾅ]	イ [1]（2回） ケ [2]（4回） ダ [4]（1回）[＊]（1回）	
[英] 半[英]	S [7]（4回） H [4]（2回） A [2]（1回） R [7]（3回） ◯ P [7]（1回）	
[数] 半[数]	1 [1] 2 [2] 3 [3]	
[区点]	区点コード４５６７の「翼」を入力するとき [4] [5] [6] [7] ➡「翼」が入力されます。	

■ **文字を消すには**

◯（取消）を押すと、カーソルの1つ前が消えます。カーソルが文字の上にあるときは、その文字が消えます。
すべての文字を一度に消すことはできません。

■ **文字を入れ直すには**

訂正したい文字を ◯ で選んだあと、◯（取消）を押して消去します。そのあとダイヤルボタンで正しい文字を入力してください。

文字入力一覧表（親機）

入力モード／入力ボタン	全角				半角			全角
	ひらがな [漢／かな]	カタカナ [ｶﾅ]	英字 [英]	数字 [数]	カタカナ 半[ｶﾅ]	英字 半[英]	数字 半[数]	区点コード [区点]
1 あ	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ	＠．／ー＿	1	ｱｲｳｴｵ ｧｨｩｪｫ	@./-_	1	※1
2 か	かきくけこ	カキクケコ	ＡＢＣ ａｂｃ	2	ｶｷｸｹｺ	ABC	2	
3 さ	さしすせそ	サシスセソ	ＤＥＦ ｄｅｆ	3	ｻｼｽｾｿ	DEF	3	
4 た	たちつてと っ	タチツテト ッ	ＧＨＩ ｇｈｉ	4	ﾀﾁﾂﾃﾄ ｯ	GHI	4	
5 な	なにぬねの	ナニヌネノ	ＪＫＬ ｊｋｌ	5	ﾅﾆﾇﾈﾉ	JKL	5	
6 は	はひふへほ	ハヒフヘホ	ＭＮＯ ｍｎｏ	6	ﾊﾋﾌﾍﾎ	MNO	6	
7 ま	まみむめも	マミムメモ	ＰＱＲＳ ｐｑｒｓ	7	ﾏﾐﾑﾒﾓ	PQRS	7	
8 や	やゆよ ゃゅょ	ヤユヨ ャュョ	ＴＵＶ ｔｕｖ	8	ﾔﾕﾖ ｬｭｮ	TUV	8	
9 ら	らりるれろ	ラリルレロ	ＷＸＹＺ ｗｘｙｚ	9	ﾗﾘﾙﾚﾛ	WXYZ	9	
0 わ 記号 再生▶	わをんー □（スペース） 。、	ワヲンー □（スペース） 。、	，：！？＆ ／（）［］ □（スペース）	0	ﾜｦﾝｰ □（スペース）	,:!?& /()[] □（スペース）	0	
* ゛゜ トーン ⏮	濁点/半濁点 ※2		無効	＊	濁点/ 半濁点 ※2	無効	*	無効
# ⏭	無効			＃	無効		#	無効
	カーソル左右移動							
	かな漢字変換（[漢/かな] モード時）							
◯（変換）	かな漢字変換	無効（非表示）						
◯（取消）	1文字消去							
◯（文字切替）	文字の種類の切り替え							

※1：区点コードについては142～147ページをご覧ください。
※2：濁点・半濁点をつけたい文字を入力した後に押してください。「は」行の文字では、押すごとに濁点→半濁点→点なし→濁点…と切り替わります。

子機の電話帳の登録／修正／消去

子機の電話帳に登録する

よく利用する電話番号を、電話帳に登録しておくことができます。子機では、１台につき最大100人分の番号を登録できます。

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 電話帳 **を押す**

ナマエ?

2 **名前を入れる（最大12文字）**

イケダ　サトシ

・名前の入力を省略するときは、機能ボタンを押して手順４に進みます。
名前を入力しないで登録すると、名前のところに電話番号が表示されます。
（12ケタまで）

・内線/クリア/保留ボタンを２秒以上押すと、すべての文字が消えます。

3 機能 **を押す**

バンゴウ?

4 **電話番号を入れる（最大24ケタ）**

0312345678

・番号を入力せずに、電話帳に登録することはできません。

・番号を入れまちがえたときは内線 / クリア / 保留ボタンを押して番号を消したあと、もう一度、入れ直します。

・内線/クリア/保留ボタンを２秒以上押すと、すべての番号が消えます。

・「ハイフン（－）」や「スペース」は入力できません。

5 機能 **を押す**

ノコリ　95

・「ピー」と鳴って残りの登録可能件数が表示され、待受画面に戻ります。

■ **途中でやめるときは**

切 を押します。

■ **名前を入力するときは（☞55〜56ページ）**

■ **子機で登録した電話帳の内容を親機にも登録するときは（☞58ページ）**

■ **ポーズについて**

・再ダイヤル/着信記録 を押すと、約３秒間の待ち時間（ポーズ）ができます。

・ポーズを入力するのは、構内交換機から０発信するときだけにしてください。
それ以外のときにポーズを入力すると、正しく電話がかからないことがあります。

・ディスプレイには＿（アンダーバー）で表示されます。

お知らせ

●着信記録から電話番号を選び、電話帳に登録することができます（☞107ページ）。

●子機の電話帳にはあらかじめ、「≫ジホウ　117」、「≫テンキヨホウ　177」、「≫バンゴウアンナイ　104」の3件の電話番号が登録されています。あらたに登録できるのは97人分です。100人分登録したいときは、この内容を消してください。

●まちがい電話を防ぐため、番号を電話帳に登録するときは、ディスプレイ表示を見ながら正しく登録してください。

●ナンバー・ディスプレイをご利用の方で、電話帳に登録した相手の方を名前で表示させるとき（☞103ページ）や着信鳴り分けをさせているとき（☞109ページ）は、必ず市外局番から登録してください。

●市外局番の前に「184」「186」などの番号を登録すると、ナンバー・ディスプレイご利用時の名前表示（☞103ページ）や着信鳴り分け（☞109ページ）が働かなくなります。

●電話帳に名前を入力しなかったときは、電話番号が名前として登録されます。

子機の電話帳を修正する

登録した電話番号を修正することができます。

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 で相手の方を選ぶ

イケダ　サトシ

2 機能 を２回押す

0312345678

・現在登録されている番号が表示されます。

3 電話番号を入れ直す

0387654321

・内線/クリア/保留ボタンを押すたびに、表示されている最後の数字から順に消えます。そのあと、ダイヤルボタンで入れ直します。
・内線 / クリア / 保留ボタンを２秒以上押し続けると、表示されている数字をすべて消すことができます。

4 機能 を押す

ノコリ　95

・「ピー」と鳴って残りの登録可能件数が表示され、待受画面に戻ります。

■ **途中でやめるときは**

切 を押します。

子機の電話帳を消去する

登録した電話帳の内容を１件ずつ消去することができます。電話帳の内容を一度にすべて消去することはできません。

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 で相手の方を選ぶ

イケダ　サトシ

2 機能 を押し、 で「ショウキョ」を選ぶ

ショウキョ

3 機能 を２回押す

ノコリ　96

・「ピー」と鳴り消去が完了します。残りの登録可能件数が表示され、待受画面に戻ります。

■ **途中でやめるときは**

切 を押します。

お知らせ

●子機に登録した名前を修正することはできません。名前をまちがえて登録したときは、電話帳から消去したあと、もう一度登録し直してください。

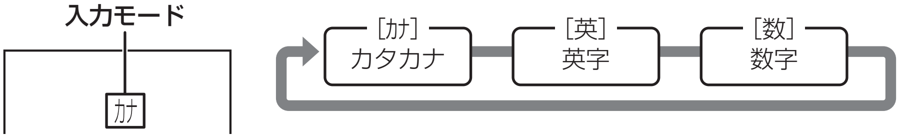
子機で文字を入力する

子機では、入力モードを切り替えることによって、カタカナ、英字、数字が入力できます。
文字の入力は、ダイヤルボタンで行います。「文字入力一覧表（子機）」（☞56ページ）をご覧ください。

子機での文字入力のしかた

1 カナ/キャッチ を押して入力モードを選ぶ

・入力モードには[ｶﾅ]、[英]、[数]の3種類があります。カナ/キャッチ を押すごとに切り替わります。

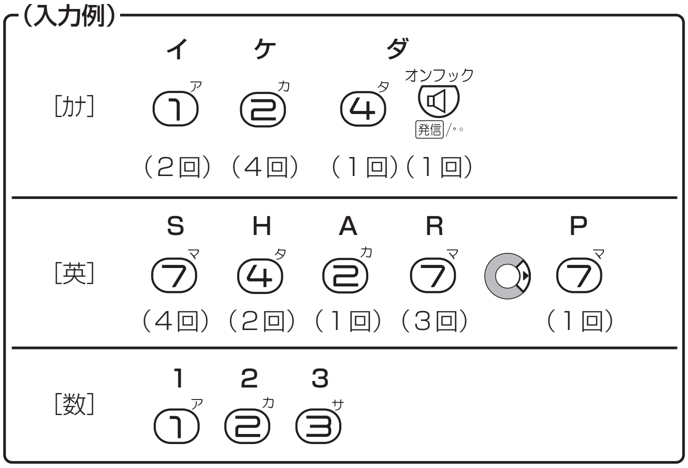


2 ダイヤルボタンで文字を入力する

・ボタンを押すごとに文字が切り替わります（[数]では１ボタンにつき１文字）。

例：[ｶﾅ]モードの ①ア の場合　ア→イ→ウ→エ→オ→ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ

・「イエ」のように、同じ文字に割り当てられている文字を続けて入力するときは、文字を入力したあと、▷ を押してカーソルを移動させてから、次の文字を入力します。



■ **文字を消すには**

内線/クリア 保留 を押すと、カーソルの合っている文字が消えます。

内線/クリア 保留 を2秒以上押し続けると、すべての文字が消えます。

■ **文字を入れ直すには**

訂正したい文字を ◁▷ で選んだあと、内線/クリア 保留 を押して消去します。そのあとダイヤルボタンで正しい文字を入力してください。

文字入力一覧表（子機）

入力モード ＼ 入力ボタン	カタカナ [カナ]	英字 [英]	数字 [数]
1 (ア)	アイウエオ ァィゥェォ	無効	1
2 (カ)	カキクケコ	ABC abc	2
3 (サ)	サシスセソ	DEF def	3
4 (タ)	タチツテト ッ	GHI ghi	4
5 (ナ)	ナニヌネノ	JKL jkl	5
6 (ハ)	ハヒフヘホ	MNO mno	6
7 (マ)	マミムメモ	PQRS pqrs	7
8 (ヤ)	ヤユヨ ャュョ	TUV tuv	8
9 (ラ)	ラリルレロ	WXYZ wxyz	9
0 (ワ)	ワ ヲ ン ー □ (スペース)	ー □ (スペース) / [ ] : , . ! ( ) & ? @	0
＊ (トーン)	無効		＊
＃	無効		＃
オンフック (発信/゛゜)	濁点/半濁点 ※	無効	
(カーソルキー)	カーソル左右移動		
内線/クリア 保留	1文字消去（2秒以上押し続けると、すべての文字を消去）		
カナ/キャッチ	文字の種類の切り替え		

※：濁点・半濁点をつけたい文字を入力した後に押してください。

親機と子機の間で電話帳を転送する

親機で登録した電話帳を子機に、子機で登録した電話帳を親機に転送することができます。
親機から子機へ転送すると電話帳の内容（「読み」と第１番号）が子機に追加されます。また、子機から親機へ転送すると電話帳の内容（「名前」と「読み」と第１番号）が親機に追加されます。

親機の電話帳を子機に転送する

1 ◯（登録） [7ま] [3さ] と押す

すべて転送するときは

2 [1あ] を押す

＜全件転送＞
①子機1へ転送
②子機2へ転送
③子機3へ転送
④子機4へ転送

1件ずつ転送するときは

2 [2か] を押す
↓
（ナビボタン）で転送したい
相手の方を選び（決定/FAXスタート）を押す

＜1件毎転送＞
①子機1へ転送
②子機2へ転送
③子機3へ転送
④子機4へ転送

3 転送先の子機を、ダイヤルボタンの [1あ] ～ [4た] で選ぶ

・25 ケタ以上の番号で登録しているデータ（子機を増設した場合は、増設した子機によって変わります。）は転送できません。

■ 途中でやめるときは

（停止）を押します。

■ １つ前に戻るときは

◯（戻る）を押します。

■「転送できないデータがあります　操作を続けますか？」と表示されたときは

この表示は親機に25ケタ以上の番号で登録しているときに表示されます。（子機を増設した場合は、増設した子機によって変わります。）

（決定/FAXスタート）を押すと、その相手の方以外のデータを転送します。

お知らせ

- ●同じ名前、同じ電話番号で登録している電話帳の内容は転送されません。
  ただし、1か所でも修正した電話帳の内容は別のデータとして扱われて転送されます。
- ●親機の電話帳を転送しても、子機に登録されていた電話帳の内容は上書きされません。
- ●転送を行っても、登録されていた電話帳の内容は消えません。

子機の電話帳をすべて親機に転送する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 (機能) **を押し、**(◇) **で「デンワチョウテンソウ」を選ぶ**

デ゛ンワチョウテンソウ

2 (機能) **を押す**

カンリョウシマシタ

・親機が使用中などで転送できないときは、「ピーピー」と鳴って転送できません。
・転送が完了すると、「ピー」と鳴って、上の表示が約30秒間表示されたあと、待受画面に戻ります。（切ボタンを押しても、待受画面に戻ります。）

子機の電話帳を1件ずつ親機に転送する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 (◇) **で転送したい相手の方を選んだあと、**(機能) **を押す**

バ゛ンゴ゛ウヘンコウ

2 (◇) **で「デンワチョウテンソウ」を選んだあと、**(機能) **を押す**

カンリョウシマシタ

・親機が使用中などで転送できないときは、「ピーピー」と鳴って転送できません。
・転送が完了すると、「ピー」と鳴って、上の表示が約30秒間表示されたあと、待受画面に戻ります。（切ボタンを押しても、待受画面に戻ります。）

■ **途中でやめるときは**

(切) を押します。

お知らせ

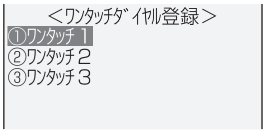
●転送するときはできるだけ、まわりに他の子機や電気製品などがない場所で行ってください。電波障害などで転送できないことがあります。
●電源コードを子機や充電器の近くにたばねて置くと、転送できないことがあります。
この場合、コードを伸ばすなどしてコードの位置を変えてください。
●転送中は、子機に衝撃を与えないようにしてください。転送できないことがあります。
●名前の先頭が”》”ではじまっている電話番号（天気予報、時報、番号案内）は、転送動作は完了しますが、親機の電話帳には登録されません。
●転送中に電話がかかってくると、転送を中断し、電話の着信音が鳴ります。
●子機から他の子機へ転送することはできません。
●転送する件数と登録できる件数を確認して親機や子機の電話帳が 100 件を超えないようにしてください。100件を超えた電話帳の内容は転送されません。
●同じ名前、同じ電話番号で登録している電話帳の内容は転送されません。
●子機の電話帳を転送しても、親機に登録されていた電話帳の内容は上書きされません。
●転送を行っても登録されていた電話帳の内容は消えません。

ワンタッチダイヤルを使う

よく電話をかける相手の方を、電話帳からワンタッチダイヤル（親機3件／子機1件）に登録しておくと、簡単な操作で電話をかけることができます。
ワンタッチダイヤルに登録したい相手先は、あらかじめ電話帳に登録（☞48、53ページ）しておいてください。

親機のワンタッチダイヤルに番号を登録する

1 ◯（登録） [7ま] [2か] と押す



2 ダイヤルボタンの [1あ] ～ [3さ] で、番号を登録したいワンタッチダイヤルを選ぶ

3 [1あ] を押す

4 ◎ でワンタッチダイヤルに登録したい相手先を選び、（決定/FAXスタート）を押す

5 ◯（停止）を押す

■ **途中でやめるときは**
◯（停止）を押します。

■ **1つ前に戻るときは**
◯（戻る）を押します。

■ **ワンタッチダイヤルの登録を消すときは**
① ◯（登録） [7ま] [2か] と押す
② ダイヤルボタンの [1あ] ～ [3さ] で、登録を消したいワンタッチダイヤルを選ぶ
③ [2か] [2か] と押す
④ ◯（停止）を押す

お知らせ
- ●ワンタッチダイヤルに登録した、元の電話帳の内容を変更・消去すると、ワンタッチダイヤルの内容も変更・消去されます。
- ●ワンタッチダイヤルには第1番号が登録されます。第2番号を登録することはできません。

親機のワンタッチダイヤルで電話をかける

1 受話器を取って、◯（ボタン切替）を押す

2 ◯（ワンタッチ1、2、3のいずれか）を押す

・自動的にダイヤルを始めます。

3 通話が終わったら
受話器を戻す

■ **途中でやめるときは**
受話器を戻します。

子機のワンタッチダイヤルに番号を登録する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 で登録したい相手の方を電話帳から選ぶ

イケダ゛ サトシ

2 ワンタッチダイヤル を押す

・「ピー」と鳴り、選んだ相手の方の電話番号が登録されます。

3 切 を押す

■ **途中でやめるときは**

切 を押します。

■ **ワンタッチダイヤルの登録を変更するときは**

あらためて番号を登録し直します。
先に登録されていた内容は消去されます。

■ **ワンタッチダイヤルの登録を消すときは**

ワンタッチダイヤル を2秒以上押します。
「ピー」と鳴ったあと、ワンタッチダイヤルの登録は自動的に消去されます。

子機のワンタッチダイヤルで電話をかける

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 ワンタッチダイヤル を押す

0312345678

・通話ボタンが点灯し、自動的にダイヤルを始めます。

2 相手の方が電話に出たら

オンフック 発信/ を押して話す

3 通話が終わったら

切 を押す

■ **途中でやめるときは**

切 を押します。

お知らせ

- ワンタッチダイヤルの登録は、それぞれの子機に１つです。
- 通話ボタンを押したあと、ワンタッチダイヤルボタンを押しても、電話をかけることができます。
- ワンタッチダイヤルに登録した、元の電話帳の内容を変更・消去すると、ワンタッチダイヤルの内容も変更・消去されます。

留守に設定する

外出中に相手の方の伝言を録音したり、また、ファクスを自動受信します。
相手の方の用件は、１件につき約30秒間録音できます（録音時間は変更できます。「録音時間」☞138ページ）。すべての録音を合わせて、最大約15分間または、30件までです。

設定した回数の着信音が鳴る※1



応答メッセージが流れる
「ただ今、留守にしております。ファクスを送られる方は…」

応答メッセージ待ち時間※2

相手がスタートボタンを押すと自動的にファクスを受信します。

「ピー」と発信音が鳴ります。 → 留守番電話の動作になります。

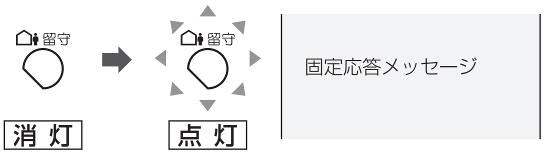
発信音待ち時間※2

※１ 着信音の回数は変更できます（☞62ページ）。お買いあげ時の回数は「４回」です。

●応答メッセージ待ち時間と発信音待ち時間は、ファクスを受信するために必要な無音時間です。
※２ 応答メッセージ待ち時間と発信音待ち時間は変更できます（☞138ページ）。お買い上げ時の設定は「4秒」です。ただし、短くするとファクスを受けにくくなる場合があります。

受話器を置いたまま操作します。

1 留守 を押して点灯させる



・留守ボタンが点灯し、固定応答メッセージが流れます

固定応答メッセージ
「ただ今、留守にしております。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。電話の方は、ピーッと鳴りましたらお名前とご用件をお話しください。」

・録音できる残り時間が５分以下のときは、「残り約○分、録音できます。」と流れます。

固定応答メッセージの内容は変わります。

ファクス受信できるが、録音できないとき
「ただ今留守にしております。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。電話の方は、恐れ入りますが、後程おかけ直しください。」
録音はできるが、ファクス受信できないとき（インクリボンがないときなど）
「ただ今留守にしております。ピーと鳴りましたらお名前とご用件をお話しください。」
ファクス受信も録音もできないとき
着信音が鳴り（25回）、「ただ今留守にしております。恐れ入りますが後程おかけ直しください。」（3回流れます。） ※ただし、リモート操作（☞98～99ページ）するための暗証番号が登録されていないと応答しません。

■ **自分で応答メッセージ（オリジナルメッセージ）を録音するときは（☞66ページ）**

■ **着信してから応答メッセージが流れるまでの時間を変えるときは**

はじめは４秒に設定されています。「応答メッセージ待ち時間」（☞138ページ）の設定で変更することができます。

■ **固定応答メッセージが流れたあと「ピー」と鳴るまでの時間を変えるときは**

はじめは４秒に設定されています。「発信音待ち時間」（☞138ページ）の設定で変更することができます。

お知らせ

●オリジナルメッセージにしたときでも、ファクス受信できなくなったときや録音ができなくなったときは、自動的に固定メッセージに切り替わります。
●録音時間が残り１分以下、または残りの件数が３件以下になっているときは、留守設定したときに「メモリーがもうすぐいっぱいです。」と音声でお知らせします。このときは不要な録音を消してください（☞65ページ）。
●留守録音とメモリー受信は、同じメモリーを使用しています。メモリー受信したファクスがあると、録音できる時間が少なくなります。
●留守設定中は、他の受信モード（FAX優先/FAX専用）は働きません。留守設定が優先されます。

■ **応答メッセージが流れるまでの着信音の回数を変えるときは（留守モード時のコール回数）**

応答メッセージが流れるまでの着信音の回数を設定します。

① ◯（登録）［3さ］［3さ］［2か］と押す

② ダイヤルボタンでコール回数を入力する（01回～25回）

③ （決定/FAXスタート）を押す

④ ◯（停止）を押す

■ **留守設定中に相手の方の録音中の声を聞くときは（お声拝聴）（****☞138ページ****）**

お声拝聴の設定を「あり」にすると留守録音中に相手の方の録音中の声と応答メッセージがスピーカーから聞こえます。（工場出荷時は「あり」に設定されています。）
「なし」に設定すると録音中の声と応答メッセージは聞こえません。

■ **相手の方が自動送信でファクスを送っているときは**

「ポー・ポー…」という音を検出すると、自動的にファクス受信に切り替わります。（ファクス受信可能な場合のみ）

■ **下記のメッセージが表示されているときは**

録音データ保存中
しばらくお待ちください

録音した内容をメモリーに保存しています。このメッセージが表示されている間は、電話の着信以外の操作はできません。
また、このときの親機の着信音は、他の着信音に設定していても「電話ベル音」になります。
子機の着信音は鳴りません。

着信音の回数とトールセーバー

留守モードでは、着信音の回数を設定するか、「トールセーバー」という機能を選択できます。
トールセーバーを選択すると、外出先から留守番電話のメッセージが入っているかどうかを確認できます。

外出先からメッセージの有無を確認する（トールセーバーのとき）

外出先から自宅に電話をかけて、留守番メッセージが再生されるまでの着信回数を確認します。

メッセージがあるとき…着信音２回で着信
メッセージがないとき…着信音５回で着信

↓

着信音が３回鳴った時点で、メッセージが録音されていないことがわかります。３回鳴った時点で電話を切れば通話料はかかりません。２回鳴って電話がつながったときは、リモート操作（☞98～99ページ）によって音声メッセージを確認するなど、親機を操作することができます。

■ **留守モード時のコール回数を「トールセーバー」にするときは**

① ◯（登録）［3さ］［3さ］［1あ］と押す

② ◯（停止）を押す

お知らせ

- 応答メッセージが流れている間や録音している間に受話器を取ると、通話できます。（親機、子機とも）
- メモリー容量がないとき（メモリーがいっぱいのとき）は、メモリー受信や録音ができませんので、応答メッセージが自動的に切り替わります。もとの応答メッセージに戻すときは、メモリー受信したファクスをプリントまたは消去するか（☞84ページ）、不要な録音を消去してください。（☞65ページ）
- 録音とメモリー受信は同じメモリーを使用しています。メモリー受信データがあると録音できる時間が少なくなります。
- 用件の録音中は、「ポー・ポー…」という音を検出しても、ファクスを受信することはできません。

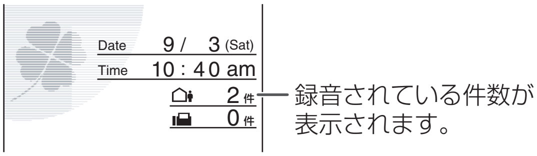
留守設定を解除する

帰宅したあと留守設定を解除するだけで、留守中に録音されたメッセージを聞くことができます。

受話器を置いたまま操作します。

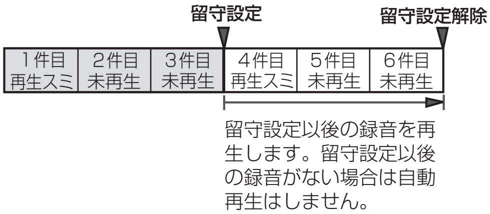
1 留守 **を押す**

・留守設定中に録音があると、録音件数が表示され、留守ボタンが点滅しています。留守を解除すると消灯します。



・留守を解除すると、留守設定中にかかってきた録音内容を自動的に１回再生します。
・再生中は「早聞き」「遅聞き」「次の録音にとばす」「１つ前の録音に戻す」ことができます。
・録音内容を１件再生するごとに、録音された日時を音声でお知らせします。

留守設定以降の再生について



■ 再生を途中でやめるときは

停止 を押します。

■ 留守ボタンが点滅しているときは

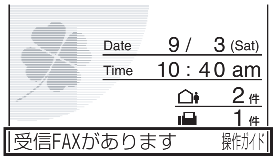
●留守設定中に１回点滅しているときは、新しく入った録音があります。また、メモ録音や通話録音が入ったときも点滅します。
●留守を解除したあとでも、２回点滅しているときは、まだ再生していない（未再生）録音（メモ録音や通話録音、留守録）があります。
再生ボタンを押して約３秒以上再生すると再生済みになります。全て再生済みになると消灯します。
●まだ再生していない録音を聞くときや、録音をもう一度聞き直すときは、「録音されている内容を聞く（再生する）」（☞64ページ）の操作をします。

■ 留守設定を解除せずに留守録を聞くには（64ページ）

■ 再生中の操作について（☞64ページ）

■ 親機のディスプレイに「受信FAXがあります」と表示しているときは

送られてきたファクスがメモリーに残っています。すべての受信データを表示すると「受信FAXがあります」の表示が消えます（☞81ページ）。



また、見てからプリント も消灯します。

お知らせ

●一度聞いた不要な用件は消去してください。録音されている用件が多いと、メモリー容量が少なくなり、新しく録音することやファクスを受けることができなくなることがあります。
●消去しない限り、新しく録音される用件は、前の用件の最後に続けて録音されます。
●親機の日付と時刻の設定がまちがっていると、まちがった日付と時刻が記録されます。正しく合わせてください（☞16～17ページ）。

録音されている内容を聞く（再生する）

録音されている内容（留守中に録音されたメッセージや通話録音、メモ録音）を再生するときの操作です。親機と子機のどちらでも再生できます。

親機で録音内容を再生する

受話器を置いたまま操作します。

1 [再生▶] **を押す**

```
<再生>

9月 3日 10:20 AM
内容:用件　　再生:未
1件目 再生中
```

・「留守」に設定しているときと、していないときでは再生する内容が変わります。

子機で録音内容を再生する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 [機能] **を２回押す**

```
〈サイセイチュウ〉
```

・「留守」に設定しているときと、していないときでは再生する内容が変わります。
・子機で録音内容を再生しても、留守設定は解除されません。

■ 再生する内容について

留守設定しているとき

留守設定（4件目の前）

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

留守設定以後の録音を再生する（留守設定以後の録音がない場合は１件目から再生）

留守設定していないとき

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

未再生の録音以後を再生する（未再生の録音がない場合は１件目から再生）

約３秒以上再生した内容は「再生スミ」になります。

再生中にできる操作について

■ 再生を途中でやめる

再生中に [停止]（親機）または [切]（子機）を押します。

■ 次の録音にとばす

再生中に [#]（親機）または [6]（子機）を押します。

■ 早聞きや遅聞きをする（親機）

再生中に [再生▶] を押します。押すたびに、再生の早さが「早い」→「遅い」→「もとの早さ」→「早い」…と切り替わります。

■ 早聞きをする（子機）

再生中に [9] を押します。押すたびに、再生の早さが「早い」→「もとの早さ」→「早い」…と切り替わります。

■ 再生中の録音を聞き直す

再生中に [*]（親機）または [5]（子機）を押します。

■ １つ前の録音に戻す

再生中に [*]（親機）または [5]（子機）を２回続けて押します。
再生中の録音の１つ前から再生します。聞きたい録音まで戻すときは、くり返し [*] または [5] を押します（１回押すごとに１つ戻ります）。

３秒以上再生したあと、[*] または [5] を２回続けて押すと１つ前の録音に戻る（5件目から）

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

聞きたい録音まで戻すときは、[*] または [5] をくり返し押して確認する

お知らせ

●一度聞いた不要な用件は消去してください（☞65ページ）。録音されている用件が多いと、メモリー容量が少なくなり、あらたに録音やファクス受信ができなくなることがあります。

録音されている内容を消去する

一般録音（留守中に録音されたメッセージや通話録音、メモ録音）を消去します。

録音を1件消去する

受話器を置いたまま操作します。

1 消したい録音を再生中に
（キャッチ/消去）**を2回押す**

1件目　消去しました

■ **親機の録音メモリーの残量を確認するときは（FAX/録音メモリー残量表示）**

① （登録） 8や 6は と押す

（例）

<詳細設定>

メモリー残量　94%

② （停止） を押す（待受画面に戻ります）

録音をすべて消去する

受話器を置いたまま操作します。

1 （キャッチ/消去） 1あ 2か **と押す**

消去しました

お知らせ

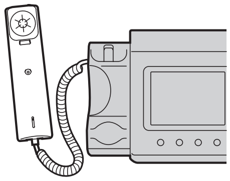
●子機で録音を消去することはできません。

自分で応答メッセージを録音する

留守設定したときに流れる固定応答メッセージの代わりに、自分でメッセージを１種類録音できます（オリジナルメッセージ）。録音できる時間は他の録音と合わせて最大約15分です。

1 ◯（登録）［4 た］［1 あ］と押す

2 受話器を取る



3 （決定/FAXスタート）を押し、受話器で応答メッセージを話す

応答メッセージの例

「はい、○○です。ただ今留守にしております。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。電話の方は、ピーという音が鳴りましたら、メッセージをお話しください。」

・応答メッセージは20秒以下にしてください。長すぎるとファクスを受信できないことがあります。

4 録音が終わったら
◯（停止）を押し、受話器を戻す

■ **途中でやめるときは**

◯（停止）を押します。

■ **応答メッセージの内容を変えるときは**

録音した内容を消してから、もう一度録音します。

■ **応答メッセージの内容を聞くときは**

◯（登録）［4 た］［3 さ］と押します。

オリジナルメッセージが再生されます。

■ **応答メッセージを消すときは**

◯（登録）［4 た］［2 か］［2 か］と押します。

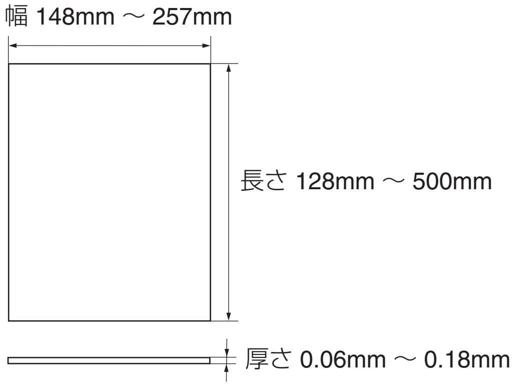
お知らせ

- 応答メッセージを録音すると、留守設定時には録音したオリジナルメッセージが流れます。固定応答メッセージに戻したいときは、録音した応答メッセージを消してください。
- 応答メッセージを録音していても、ファクス受信できなくなったときや録音できなくなった場合は、自動的に固定応答メッセージに切り替わります（☞61ページ）。記録紙やインクリボンをセットして受信内容をプリントしたあと、または用件を消去するとオリジナルメッセージに戻ります。

コピー／ファクスをする前に

使用できる原稿

■ セットできる原稿のサイズ

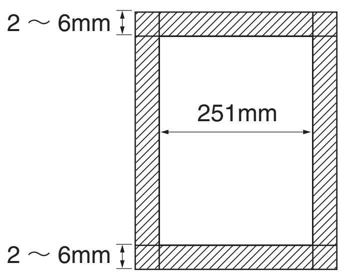


●セットできる記録紙のサイズが A4 サイズなので、B4 サイズの原稿（257mm × 364mm）をコピーする場合は、A4 サイズに縮小してコピーする必要があります。
（縮小コピー　☞71 ページ）
また、A4 サイズの長さを超える原稿を A4 サイズに分割してコピーすることができます。
（分割コピー　☞139 ページ）
〈厚さの目安〉
新聞紙の厚さは約 0.05 ～ 0.06mm です。
上質紙の厚さは約 0.10mm です。
官製はがきの厚さは約 0.23mm です。

■ 原稿を読み取れる範囲

原稿を読み取るときは、実際に読み取れる範囲が決まっています。原稿の端の部分は読み取れませんので、ご注意ください。

●最大読み取り幅　251mm
●最大読み取り長　送信原稿長 (128 ～ 500mm) から上下とも 2 ～ 6mm を引いた長さ



■ 一度に２枚以上セットできない原稿

●長さ 364mm を超える原稿
●厚さ 0.12mm（90kg 用紙……四六判（788 × 1091mm）の用紙 1000 枚の重量）を超える原稿
●厚さや大きさの異なる原稿

■ そのままではセットできない原稿

次のような原稿は複写機でコピーをとってからセットしてください。

●サイズが規定より小さすぎるもの
（例：写真など）
●フィルム状のもの、透明のもの
●紙の厚さが薄すぎるもの
●しわ、破れ、折り目やソリのあるもの
●裏カーボン紙、感熱紙など
●コーティングされているもの

■ 自動縮小機能について

ファクス送信のとき、原稿サイズがB4で、相手側の記録紙がA4サイズのときは、自動的にA4サイズに縮小します。

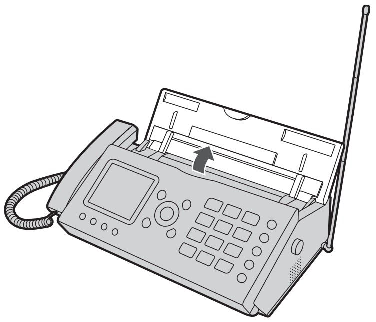
お知らせ

●クリップやホッチキスの針は、必ず取り外してください。故障の原因になります。
●糊や修正液、ボールペンのインクなどは、よく乾かしてください。原稿送りローラーや読み取り部（ガラス）の汚れの原因になります。（汚れたときは　☞118、119ページ）
●原稿は無理に引き出さないでください。無理に引っ張ると読み取り面やインクリボンに傷がつきます。
「原稿がつまったときは」（☞120ページ）を参照して取り出してください。

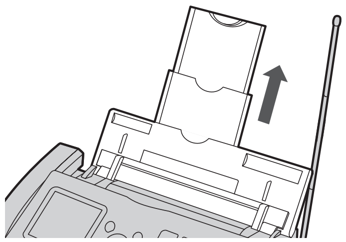
原稿をセットする

コピーや送信する面をウラ向きにして、原稿挿入口に入れてください。（一度に５枚まで）

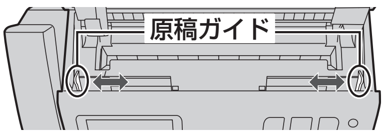
1 記録紙トレイを開ける



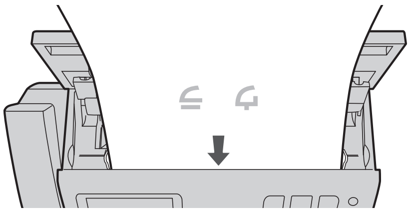
2 延長トレイを引き出す



3 原稿ガイドを原稿の幅に合わせる



4 原稿はウラ向きに！ コピーや送信する面を下にしてセットする（一度に５枚まで）



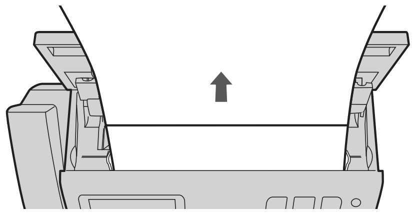
・ 原稿が自動的に少し引き込み始めたら、手を離してください。

■ **６枚以上の原稿があるとき**
５枚の原稿をセットしたあと、コピーやファクス中に原稿が送り出されて減った枚数分を、セットされている原稿の一番上に追加してください。

原稿を取り出す

記録紙をセットしているときは記録紙を取り出してから操作します。

1 一番下にある原稿を残して、その他の原稿を取り除く



2 ◯（登録）（わ 記号 再生▶）と押す

・ 原稿が自動的に排出されます。

■ **原稿が排出されないときは**（☞120ページ）

お知らせ

●原稿をセットしたあと停電になると、復旧後に「原稿がつまっています」と表示されることがあります。

コピー／ファクスするときの画質・濃度を選ぶ

原稿の文字の大きさや濃さ、写真など、種類に合わせて、画質や濃さを選ぶことができます。

原稿をセットした状態で操作します。

1 ◯(画質）を押し、画質・濃度を選ぶ

「普通字」→「小さな字」→「精細」→「写真」→「普通字　濃く」→「小さな字　濃く」→「精細　濃く」→「写真　濃く」→「普通字」

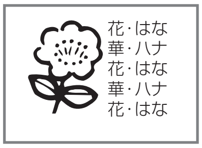
・画質ボタンを押すごとに、画質・濃度が変わります。現在の画質は、ディスプレイ上部に表示されます。
・画質ボタンを押さなかった場合は、コピーのときは「小さな字」、ファクス送信のときは「普通字」に設定されます。

お知らせ

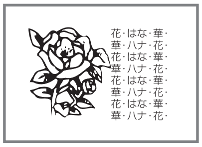
●「普通字」に比べて、「小さな字」「精細」「写真」ではファクスの送信時間が長くかかります。
●コピーをするときは、「普通字」（「普通字 濃く」）を選んでも、「小さな字」（「小さな字 濃く」）でコピーされます。
●ファクスやコピー中に画質選択を切り替えると、次の原稿から画質が変わります。
●「写真」以外でカラーの原稿や写真をコピーすると、配色によって部分的に写らなかったり、黒く写ることがあります。
●停止ボタンを押すと、選んだ画質が取り消されます。

■ 選べる画質・濃度について

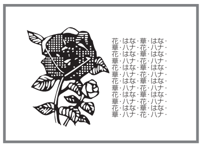
「普通字」「普通字　濃く」
文字が大きくはっきり見えるときに選びます。



「小さな字」「小さな字　濃く」
「普通字」の２倍の密度で読み取ります。文字が小さな字のときに選びます。
画像が小さくなる（縮小される）ことはありません。



「精細」「精細　濃く」
「普通字」の４倍の密度で読み取ります。細い線を使った図面や、さらに小さな字のときに選びます。
受信側に「精細」がないときは、自動的に「小さな字」に切り替わります。



「写真」「写真　濃く」
濃淡のある原稿（カラーの原稿）や、写真のときに選びます。



※原稿の文字などが薄いときは、各画質の「濃く」を選びます。

コピーの禁止について

本商品で原稿をコピーする場合、コピーしたものを所有するだけで法律で罰せられるものがあります。
ご注意ください。

■ **法律で禁止されているもの**

● 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券をコピー（複製）する事は禁止されています。たとえ、見本の印が押してあっても、複製してはいけません。
（通貨及証券模造取締法、紙幣類似証券取締法）

● 外国において流通する紙幣、貨幣、証券類のコピー（複製）もできません。
（外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律）

● 未使用の郵便切手、官製はがきなどは政府の許可を受けないでコピー（複製）することは禁じられています。
（郵便切手類模造等取締法）

● 政府発行の印紙および酒税法や物品税法などで規定されている証紙などもコピー（複製）できません。
（印紙等模造取締法）

■ **コピー（複製）する場合に注意を要するもの**

● 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券などは、事業会社が業務用に最低必要部数をコピー（複製）する以外は、政府の指導によって注意が呼びかけられています。

● 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、身分証明書や通行券、食券などの切符類も勝手にコピーしないほうがよいと考えられています。

■ **著作権に注意するもの**

● 著作権の目的となっている書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画、および写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用するため以外は、コピー（複製）を禁止されています。

等倍でコピーする

一度に5枚まで原稿をセットしてコピーすることができます。

1 原稿をセットする（☞68ページ）

・画質を選ぶときは、画質ボタンを押します。画質ボタンを押さなかったときは、自動的に「小さな字」でコピーします。

2 ◯（コピー/印刷）を押す

・コピーが始まります。

■ **途中でやめるときは**

◯（停止）を押します。
コピーが中止され、記録紙と原稿が自動的に排出されます。

■ **コピーの途中で画質を切り替えるときは**

コピー中に ◯（画質）を押すと次のページから画質が切り替わります。（コピー途中の原稿の画質を変えることはできません。）

■ **コピー終了時の音声を切り替えるときは（☞90ページ）**

■ **原稿がつまったときは（☞120ページ）**

■ **記録紙がつまったときは（☞121ページ）**

お知らせ

- ●等倍でコピーしても、機械の状態や記録紙の状態により厳密な等倍サイズにはならないことがあります。
- ●通話中にコピーを始めることはできません。
- ●コピー中に電話がかかってきたときは、親機の受話器を取ってお話しください。親機のオンフックボタンを押しても、相手からの声は聞こえますがお話しはできません。
- ●コピー中は、内線通話や子機での通話はできません。
- ●停止ボタンを押すと選んだ画質が取り消されます。
- ●コピー中に電話がかかってくると、他の着信音に設定していても、着信音は「電話ベル音」になります。
- ●コピーをしているときは、読上げボイスダイヤル機能が働きません。

拡大／縮小／複数枚（マルチ）コピーする

拡大／縮小コピーや、同じ原稿の複数枚（マルチ）コピーなどができます。

1 原稿をセットする（☞68ページ）

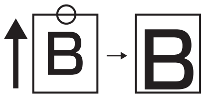
・画質を選ぶときは、画質ボタンを押します。画質ボタンを押さなかったときは、自動的に「小さな字」でコピーします。

2 ◯（登録）［6 は］と押す

3 ダイヤルボタンでコピーの種類を選ぶ

［1 あ］：「拡大1.4倍」
140％に拡大（A5→A4）してコピーします。

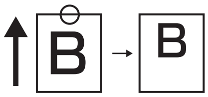
原稿
挿入方向



○の位置を基準に拡大します。

［2 か］：「縮小0.8倍」
80％に縮小（B4→A4）してコピーします。

原稿
挿入方向



○の位置を基準に縮小します。

［3 さ］：「複数枚コピー」
複数枚のコピーをします。

［1 あ］～［5 な］を押して枚数（最大５枚）を入力し、（決定/FAXスタート）を押します。枚数をまちがえたときは、（決定/FAXスタート）を押す前に正しい枚数を入力し直します。

4 ◯（コピー/印刷）を押す

・コピーが始まります。
・コピー終了後、等倍に戻ります。

ファクスを送る

親機でお話ししてからファクスを送る

親機で電話をかけて、相手の方とお話ししてからファクスを送るときの操作です。
原稿は一度に5枚までセットできます。

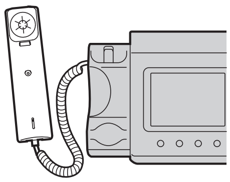
「操作ガイド」の機能を使って、ファクス送信の案内を表示させることができます（☞12ページ）。

記録紙トレイを開いてから操作します。

1 原稿をセットする（☞68ページ）

・画質を選ぶときは、画質ボタンを押します。画質ボタンを押さなかったときは、自動的に「普通字」で送信します。

2 受話器を取ってダイヤルする



・まちがい電話や誤送信を防ぐために、「ツー」という音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。
・押したボタンの番号をスピーカーの音声でお知らせすることができます。（読上げボイスダイヤル機能　☞89ページ）

3 相手の方が出たらファクスを送ることを伝えて（決定/FAXスタート）を押す

・相手の方のファクシミリが留守番電話のときはその案内に従って操作します。
・相手の方が受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります（おまかせ送信）。
※お使いの環境によってはおまかせ送信ができないことがあります。このときは「ピー」という音が聞こえたら決定／FAXスタートボタンを押してください。
・送信中、途中でやめるときは停止ボタンを押します。（原稿がつまった状態になります。）

4 受話器を戻す

・ファクス送信が終わると終了音が聞こえます。

■ **送信前に途中でやめるときは**
受話器を戻します。

■ **相手の方とお話ししないでファクスを送りたいときは（☞73ページ）**

■ **6枚以上の原稿があるときは（☞68ページ）**

■ **「通信エラーがありました。」と聞こえたら（☞130ページ）**

■ **セットした原稿を取り出すときは（☞68ページ）**

■ **子機の操作でファクスを送るときは（☞76ページ）**

■ **原稿がつまったときは（☞120ページ）**

■ **海外へファクスを送るときは**
ダイヤルするとき、「電話会社の識別番号」「010」「国番号」「市外局番」「ファクス番号」の順にダイヤルします。

■ **ファクスを送信したときの終了音を切り替えるときは（☞90ページ）**

■ **おまかせ送信とは**
相手の方が受信操作をすると「ピー」という音（ファクス受信音）が聞こえ、「ファクスを送信します。【受話器を戻してください。】」とメッセージが流れて自動的にファクス送信します。
※【　】内のメッセージは受話器を取っているときのみ流れます。

お知らせ

●ファクスを送ったとき、相手側の記録紙に日付と時刻、曜日をプリントするので、日付・時刻は正しく設定してください（☞16〜17ページ）。
●国際通話や通信につきましては、電話会社によって可能な国や地域などが異なりますので、詳しくは各電話会社までお問い合わせください。
●読上げボイスダイヤル機能の発声中に次のダイヤルボタンを押すと、発声中の声をやめ、次に押された番号を発生します。このため、早くボタンを押すと音声が途切れます。音声を確認してから次のボタンを押すことをおすすめします。
●本機では、自動的に再ダイヤルでファクスを送り直すことはできません。

親機でお話ししないでファクスを送る

相手の方にダイヤルし、お話ししないでファクスを送ることができます。

1 原稿をセットする（☞68ページ）

・画質を選ぶときは、画質ボタンを押します。画質ボタンを押さなかったときは、自動的に「普通字」で送信します。

2 オンフック を押す

オンフックダイヤルモード

3 「ツー」という音が聞こえたら

ダイヤルする

・まちがい電話や誤送信を防ぐために、「ツー」という音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。
・押したボタンの番号をスピーカーの音声でお知らせすることができます。（読上げボイスダイヤル機能　☞89ページ）

4 電話がつながったら

決定/FAXスタート を押す

・送信が始まります。
・送信中、途中でやめるときは停止ボタンを押します。（原稿がつまった状態になります。）
・ファクス送信が終わると終了音が聞こえ、自動的に回線が切れます。

■ 送信前に途中でやめるときは

オンフック を押します。

■ 原稿がつまったときは（☞120ページ）

お知らせ

●相手の方がファクス受信に切り替えなかったときなど「応答がありません」と表示されてファクスが送られないことがあります。こんなときは、「親機でお話ししてからファクスを送る」（☞72ページ）の方法で送信してください。
●ファクス送信中にディスプレイに表示される番号は相手の方のファクシミリに登録されている番号（発信元番号）ですので、実際にダイヤルした番号と異なる場合があります。（必要に応じて相手の方に確認してください。）
●相手の方が自動受信（音声応答なしの場合）に設定されていると、こちら側には「ピー」という音が聞こえます。

電話帳やワンタッチダイヤル、再ダイヤルでファクスを送る

電話帳やワンタッチダイヤルにファクス番号を登録（☞48、59ページ）しておくと、かんたんな操作でファクスを送ることができます。
また、相手の方がお話し中などでファクスを送り直すときは、再ダイヤルボタンを使ってかんたんにファクスを送ることができます。

受話器を置いたまま操作します。

1 原稿をセットする（☞68ページ）

・画質を選ぶときは、画質ボタンを押します。画質ボタンを押さなかったときは、自動的に「普通字」で送信します。

電話帳でファクスを送るとき

2 ① 電話帳 を押し、
で相手の方を選ぶ

電話帳　登録　5件　(残り95件)
》時報　117
》天気予報　177
》番号案内　104
池田 さとし　03123456789
三浦 サオリ　03987654321

・ディスプレイで相手の方を確かめます。

② ◯（詳細表示）を押し、 で電話番号（第１番号または第２番号）を選ぶ

＜電話帳１件表示＞
名前:池田 さとし
読み:ｲｹﾀﾞ ｻﾄｼ
番号①:03123456789
番号②:090123456789

・第１番号にファクスを送るときは、手順①のあと、決定/FAXスタート を押して送ることもできます。

ワンタッチダイヤルでファクスを送るとき

2 ◯（ボタン切替）を押し、
◯（ワンタッチ1、2、3のいずれか）を押す

再ダイヤルでファクスを送るとき

2 再ダイヤル を押す

＜再ダイヤル＞
池田 さとし
03123456789

・ディスプレイで相手の方を確認します。

3 決定/FAXスタート を押す

・自動的に送信を始めます。

■ 途中でやめるときは

停止 を押します。

■「通信エラーがありました」と聞こえたら（☞130ページ）

■ 原稿がつまったときは（☞120ページ）

お知らせ

- ファクス送信中にディスプレイに表示される番号は相手の方のファクシミリに登録されている番号（発信元番号）ですので、実際にダイヤルした番号と異なる場合があります。（必要に応じて相手の方に確認してください。）
- 電話帳やワンタッチダイヤル、再ダイヤルから自動的にファクスを送るときは、読上げボイスダイヤル機能は働きません。
- 自動送信がうまくいかないときは、「発信音検出」の設定（☞139ページ）の設定を「なし」にするか、受話器を取って送信してください。
- 本機では、自動的に再ダイヤルでファクスを送り直すことはできません。

電話帳やワンタッチダイヤル、再ダイヤルでファクスを送る

■ 受話器を取ってファクスを送るときは

電話帳で送るとき

① 原稿をセットする（☞68ページ）
② 受話器を取り、「ツー」という音を確かめる
③ 電話帳 を押し、 で相手の方を選ぶ
④ ◯（詳細表示）を押し、 で第1番号または第2番号を選ぶ
⑤ 決定/FAXスタート を押す
⑥ 相手の方が受信操作したときの「ピー」という音が聞こえたら（または、相手の方とつながったら） 決定/FAXスタート を押す
⑦ 受話器を戻す

ワンタッチダイヤルで送るとき

① 原稿をセットする（☞68ページ）
② 受話器を取り、「ツー」という音を確かめる
③ ◯（ボタン切替）を押し、◯（ワンタッチ1、2、3のいずれか）を押す
④ 相手の方が受信操作したときの「ピー」という音が聞こえたら（または、相手の方とつながったら） 決定/FAXスタート を押す
⑤ 受話器を戻す

再ダイヤルで送るとき

① 原稿をセットする（☞68ページ）
② 受話器を取り、「ツー」という音を確かめる
③ 再ダイヤル を押す
④ 相手の方が受信操作したときの「ピー」という音が聞こえたら（または、相手の方とつながったら） 決定/FAXスタート を押す
⑤ 受話器を戻す

■ 電話帳から名前で検索してファクスを送るときは

電話帳に登録した名前の「読み」を入力して、相手先を検索することができます。

① 原稿をセットする（☞68ページ）
② 電話帳 ◯（検索）と押す
③ ダイヤルボタンで名前の「読み」を入力する
「読み」の頭文字や、途中までの文字でも探すことができます。
④ 決定/FAXスタート を押す
⑤ 目的の相手先が選ばれていないときは、 で選ぶ
⑥ ◯（詳細表示）を押し、 で第1番号または第2番号を選ぶ
⑦ 決定/FAXスタート を押す

子機の操作でファクスを送る

子機の操作（ダイヤル／電話帳／再ダイヤル）でファクスを送る

親機にセットした原稿を、子機でダイヤルしてファクスを送ることができます。

記録紙トレイを開いてから操作します。

1 親機

原稿をセットする（☞68ページ）

- 画質を選ぶときは、画質ボタンを押します。画質ボタンを押さなかったときは、自動的に「普通字」で送信します。

ダイヤルしてファクスを送るとき

2 子機

相手の方の番号をダイヤルしたあと（通話）を押す

電話帳でファクスを送るとき

2 子機

（▲▼）で相手の方を選んだあと、（通話）を押す

再ダイヤルでファクスを送るとき

2 子機

再ダイヤル/着信記録（▶）を押したあと、

（▲▼）で相手の方を選び、（通話）を押す

3 子機

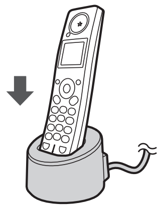
相手の方が出たらファクスを送ることを伝えて**（機能）を押す**

- 機能ボタンを押すと親機がファクスを送り始めます。
- 相手の方とお話ししないで、ファクスを送りたいときは、電話がつながったら機能ボタンを押します。
- 相手の方が受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります。（おまかせ送信）

※回線の状態でおまかせ送信が働かないことがあります。そのときは「ピー」という音が聞こえたら、機能ボタンを押してください。

4 子機

充電器に戻す



■ **途中でやめるときは**

手順３を行うまでの間に、（切）を押します。

■ **原稿がつまったときは（☞120ページ）**

■ **おまかせ送信とは（☞72ページ）**

■ **電話帳から相手先を検索してファクスを送るときは**

電話帳からダイヤルボタンで相手先を検索してファクスを送ることができます。検索は、電話帳に登録されている「名前」の頭文字をダイヤルボタンで入力して行います。入力した文字で始まる相手先のうち、最も上にあるものを表示します。

① 親機に原稿をセットする（☞68ページ）

② （◀ 電話帳）を押す

③ 相手先の「名前」の頭文字をダイヤルボタンで入力する

④ （▼）を押す

⑤ 目的の相手先が選ばれていないときは、（▲▼）で選ぶ

⑥ （通話）を押す

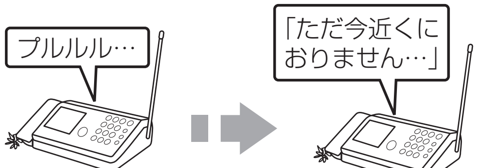
⑦ 相手の方が出たら、ファクスを送ることを伝えて（機能）を押す

⑧ 充電器に戻す

お知らせ

- 親機や他の子機でかけた電話番号を子機で再ダイヤルすることはできません。
- 子機で再ダイヤルできるのは、24ケタまでです。

ファクスの受けかた

電話に出てから ファクスを受ける (☞78ページ)	 着信音が鳴り続ける (着信音の回数：無制限) 相手がファクスのとき 決定/FAXスタート を押して受信します。 相手が電話のとき 引き続きお話しします。
電話に出ないで ファクスを受ける 設定が必要です (☞79ページ)。	 設定した回数の 着信音が鳴る 相手がファクスのとき 自動的に受信します。 相手が電話のとき メッセージが流れている間に受話器を取ると通話できます。
FAX優先または FAX専用にする 設定が必要です (☞80ページ)。	FAX優先 相手がファクスのときは、着信音を鳴らさず、自動的に受信します。 相手が電話のときは、着信音が鳴っている間に受話器を取ると通話できます。
	FAX専用 相手がファクスのときのみ、自動的に受信します。 ※電話を受けることはできません。

ファクスを受信したときのプリントのしかた

ファクスを受信したときのプリントのしかたは、次の３通りです。お買いあげ時は、「**見てからプリント**」に設定されています。
変更するときは「FAX受信方法」(☞90ページ) で設定します。

見てからプリント (☞81〜83 ページ)	受信したファクスをディスプレイに表示させることができます。 内容を確認してから、必要なファクスだけをプリントできるので、記録紙やインクリボンの無駄がありません。	受信したファクスは、メモリーに保存されますので、メモリーがいっぱいになると受信できません。また、自動的にプリントはしません。
メモリー受信 (常に記録紙を セット)	ファクスをメモリー受信したあと自動的に記録紙にプリントします (あらかじめ記録紙をセットしている場合)。 記録紙やインクリボンがなくなっても、受信したファクスがメモリーに保存されます。	メモリーがいっぱいになると受信できません。
記録紙受信 (常に記録紙を セット)	ファクスを自動的に記録紙へプリントします (あらかじめ記録紙をセットしている場合)。 メモリーの量にかかわらずファクスを受信することができます。	記録紙やインクリボンがなくなったときは受信できません。 メモリー受信したものに比べて、横方向に筋が入るなど、少し画質が劣ることがあります。

メモリー受信とは

送られてきたファクスを直接記録紙にプリントせずに、いったん親機のメモリーに記録することです。

送られてきた原稿は、プリントするとき、全体を約93%に縮小します。

ファクスを受信するときに、受信日付や相手の方のファクスに登録されている電話番号をプリントするため、全体を約93%に縮小します。縮小しないでプリントしたいときは、**縮小受信**の設定 (☞139ページ) を「なし」にします。
※ただし、「なし」に設定をされても相手の方の機械や回線、こちら側の機械や記録紙の状態によって、正確に１対１にならない場合があります。

電話に出てからファクスを受ける

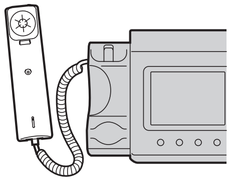
親機で電話に出てからファクスを受ける

相手の方とお話ししたあと、ファクスに切り替えます。お買い上げ時、着信音の回数は「無制限」になっていますので、ご不在のときは自動でFAXを受信することはできません。ご不在のときは「留守モード」にしておくことをお勧めします。

原稿をセットしていない状態で操作します。

1 着信音が鳴ったら

受話器を取る



2 ファクスに切り替えることを相手の方に伝えて

(決定/FAXスタート) を押す

・受信が始まります。
・受話器を取るだけで自動的にファクスに切り替わることもあります（おまかせ受信※）。
・原稿がセットされているときに決定／FAXスタートボタンを押すと送信になります。

3 受話器を戻す

・ファクス受信が終わると終了音が聞こえます。

※ **おまかせ受信について**
おまかせ受信とは、電話を受けたときに「ポー・ポー…」という音が聞こえると、下記の応答メッセージを流して自動的にファクスを受信する機能です。

おまかせ受信の応答メッセージ
ファクスを受信します。
【受話器を戻してください。】

（【　】内のメッセージは受話器を取っているときのみ流れます。）

解除するときは138ページをご覧ください。

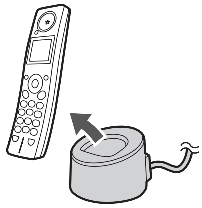
●こちらから電話をかけたときは、おまかせ受信が働きません。
●おまかせ受信が働かないときは、「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたら (決定/FAXスタート) （子機のときは (機能) ）を押してください。

子機で電話に出てからファクスを受ける

親機に原稿をセットしていない状態で操作します。

1 着信音が鳴ったら、

充電器から取って (通話) を押す



・通話ボタンが点灯します。

2 相手の方にファクスに切り替えることを伝えて

(機能) を押して、充電器に戻す

・受信が始まります。
・親機に原稿がセットされているときに機能ボタンを押すと送信になります。

お知らせ

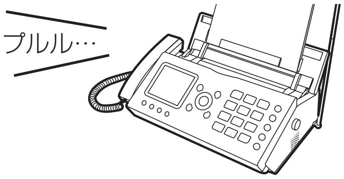
●キャッチホンをご利用のときは、通信ができなかったり、画像に線が入ったりすることがあります。
●プリント中はファクスを受けることはできません。電話がかかってきたときは、親機の受話器を取ってお話しください。
●相手の方がファクスを手動送信で送ってきたときは、電話を受けても無音の場合があります。呼びかけて応答がないことを確認してから、親機の決定／FAXスタートボタン、または子機の機能ボタンを押してください。

電話に出ないで自動的にファクスを受ける

親機で電話に出ないで ファクスを受ける

着信音の回数を設定（☞右記）すると、設定した回数の着信音が鳴ったあと、自動的にファクスを受けることができます。
お買いあげ時は「無制限呼出」（着信音が鳴り続ける設定）になっています。

1 **着信音が鳴る**



・着信音が鳴っている間に受話器を取ると通話できます。
・通話したあと、ファクスを受信するには、（決定/FAXスタート）を押してから受話器を戻してください。

2 設定した回数の着信音が鳴り終わると
自動的に応答メッセージが流れる



・応答メッセージが流れている間に受話器を取ると通話できます。

3 「ポー・ポー…」という音を検出すると
ファクスを受信する

着信音の回数を設定する

受話器を置いたまま操作します。

1 **○（登録）［3さ］［2か］［1あ］と押す**

2 **着信音の回数を入力する（01～25回）**

（例）06回 ［0わ 記号 再生►］［6は］

<回数選択>
在宅時コール回数=　06回

3 **（決定/FAXスタート）を押す**

4 **（停止）を押す**

■「無制限呼出」になっているときは

着信音が鳴り続けます。
着信音の回数を設定したあとで、「無制限呼出」に戻すときは、下記の手順で設定してください。

① ○（登録）［3さ］［2か］［2か］と押す
② （停止）を押す

■ インクリボンや受信メモリーがなくなって受信できないときは

着信音が鳴り続けます。

お知らせ

●着信音の回数を１回に設定すると、すぐに応答メッセージが流れてファクス受信になります。
●応答メッセージを流さないように設定することはできません。
●着信音の回数を７回以上に設定すると、相手の方が自動送信した場合などに、ファクスに切り替わらないことがあります。ファクス受信されることが多いときや、電話に出ないでファクスを受けたいときは、着信音の回数を６回以下に設定してください。
●相手の方が「ポー・ポー…」という音を出さずに送信するファクスをご使用の場合や、スタートボタンを押さなかった場合は、自動的に受信できません。こんなときは受話器を取ってから、FAXスタートボタンを押して受信してください。

FAX優先またはFAX専用にする（着信音を鳴らさずに受ける）

FAX優先

ファクスを受信することが多い方におすすめの機能です。
いったん着信したあと、電話かファクスかを機械が自動的に判断します。そのため、他の着信方法とは異なって、電話がかかるたびに、不在のときでも相手の方に２回着信音が鳴ったあとから通話料金がかかり始めます。そのため、電話を受けることが多い方にはおすすめできません。
FAX優先に設定すると、ディスプレイに「FAX優先」と表示されます（留守設定時は表示されません）。

FAX専用

着信したときに、着信音を鳴らさずに自動でファクス受信に切り替わります。
FAX専用に設定すると、ディスプレイに「FAX専用」と表示されます（留守設定時は表示されません）。
※ファクス受信後の終了音は鳴ります。鳴らしたくない場合は、終了音を「なし」に設定しておいてください（☞90ページ）。
※FAX 専用に設定していても、ファクスが受信できない状態のときには着信音が鳴ります。着信音が鳴っている間に受話器を取れば、電話でお話しできます。

1 ◯（登録）を押す

2 ＃ を４回押す

3 ２ ４ と押す

<受信モード>
①FAX優先
②FAX専用
③設定しない

4 「FAX優先」にするときは １ 、
「FAX専用」にするときは ２ 、
「設定しない」にするときは ３ を押す

・ １ を選ぶと回数選択になります。

<回数選択>
現在 07(回)

・ 着信音の回数を入力(04～25回)し、決定/FAXスタート を押す

（例）06回 ０ ６

5 停止 を押す

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **１つ前に戻るときは**

◯（戻る）を押します。

受信したファクスをディスプレイで見る（見てからプリント）

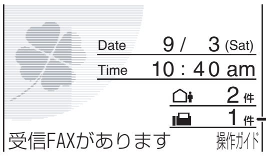
見てからプリントは、受信したファクスをディスプレイに表示して、内容を確認できる機能です。内容を見て、必要なものだけプリントできます。

受信したファクスをディスプレイに表示する

受信したファクスをディスプレイに表示して確認することができます。

「操作ガイド」の機能を使って、受信ファクスの確認方法を表示させることができます（☞12ページ）。

1 ファクスを受信したことが表示され、見てからプリント が点滅する



メモリー受信されている件数が表示されます。

2 見てからプリント を押す



・受信FAX一覧が表示されます。
・８件目以降は ◯ でカーソルを移動して表示させます。

3 ◯ で表示したい受信ファクスを選び、決定/FAXスタート を押す



・メモリー受信したファクスを表示します。
・表示している受信ファクスの見かたについては、83ページをご覧ください。

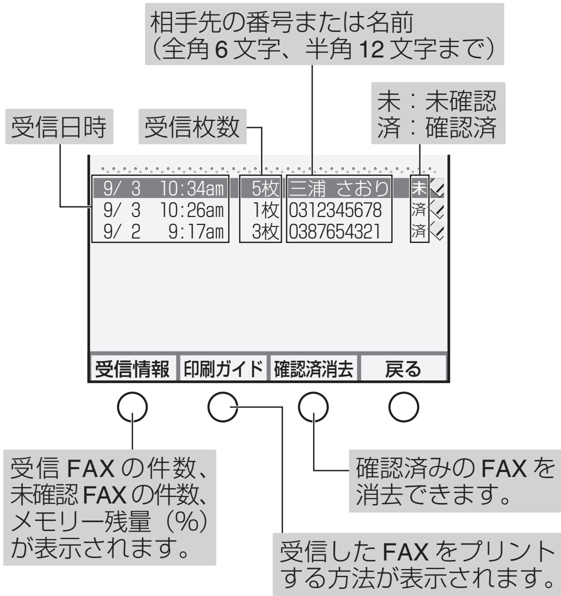
4 停止 を押す

・待受画面に戻ります。

■ 途中でやめるときは

停止 を押します。

■ 受信FAX一覧について



■ ファクスの受信方法を見てからプリント以外にするときは

「FAX受信方法」（☞90ページ）の操作で変更します。

お知らせ

●A4サイズの長さを超える受信ファクスは、A4サイズまでしか表示できません。送信元の原稿の内容が、A4サイズより長くなるときは、２ページに分けての送信などを依頼してください。
●メモリー受信したファクスによっては表示されるまでに時間がかかる場合もあります。

■ メモリー受信枚数・受信件数について

A4サイズの当社標準原稿（英字で文字数が700字程度の原稿）を「普通字」で約50枚までメモリー受信できます。原稿の内容によって、受信できる枚数は変わります。（最大でも約60枚または30件までです。）
受信メモリーと録音用のメモリーは同じメモリーを使用しています。録音などが残っていると、メモリー受信できない場合もあります。

■ メモリーがいっぱいになったときは

受信の途中でメモリーがいっぱいになると、受信が止まり通信エラーになります（「通信エラー（１～１５）」と表示されます）。メモリー受信した内容をプリント／消去したり、不要な録音メッセージを消去してください。
また、「FAX受信方法」（☞90ページ）の操作で「記録紙受信」に設定しておくと、メモリーがいっぱいでも受信できます。ただしこの場合は、インクリボン、記録紙がセットされているか確認してください。セットされていないと通信エラーになります。

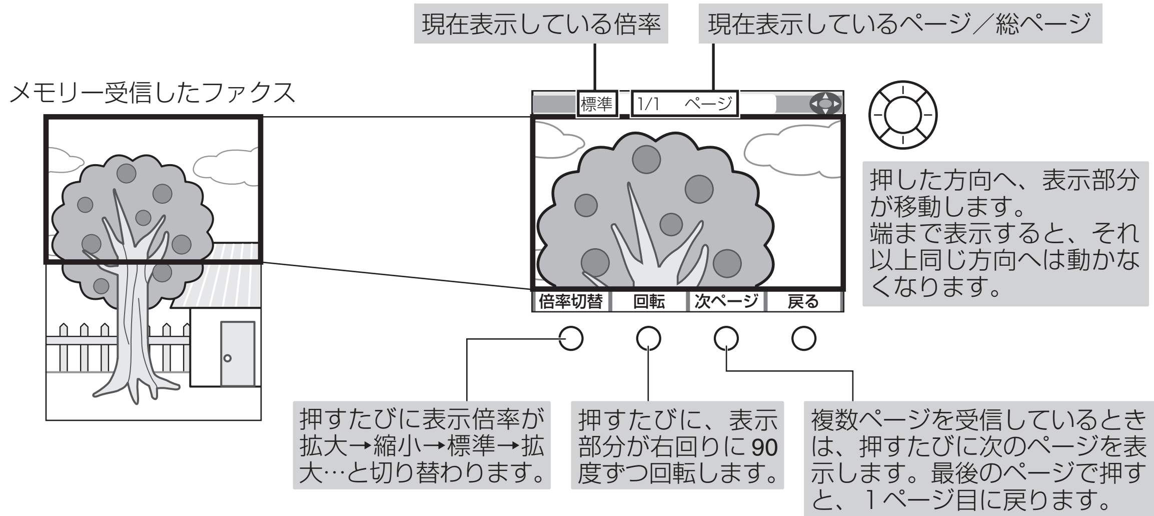
お知らせ

- 「FAX受信方法」（☞90ページ）の操作で「メモリー受信」に設定すると、記録紙やインクリボン切れなどでプリントできなかったときは、「見てからプリント」機能と同じ操作で内容を確認できます。（待受画面に「メモリー受信」と表示されます。）
- 「記録紙受信」の設定で受信したファクスは、「見てからプリント」で内容を確認することはできません。

受信したファクスをディスプレイで見る（見てからプリント）

表示したファクスの見かた

受信したファクスは、下記のように表示されます。受信内容が複数ページあるときは、１ページ目が表示されます。
表示している部分を上下左右に動かしたり（スクロール）、拡大、縮小したりすることができます。



■ **受信ファクスをプリントするときは**
（☞ 84ページ）

■ **受信ファクスを消去するときは**
（☞ 84ページ）

お知らせ

- 写真原稿や文字の多い原稿を受信したときは、表示に時間がかかることがあります。
- 「倍率切替」や「回転」は、表示されるまで少し時間がかかります。
- 拡大／縮小表示中にコピー/印刷ボタンを押しても等倍でプリントします。
- A4サイズの長さを超えるファクスは、A4サイズまでしか表示できません。送信元の原稿の内容が、A4サイズより長くなるときは、２ページに分けての送信などを依頼してください。

メモリー受信したファクスをプリント／消去する

プリントする

メモリー受信したファクスを、受信FAX一覧から選んでプリントすることができます。

記録紙をセットしてから操作します（☞26ページ）。

1 見てからプリント ◯ **を押し、◎ でプリントしたい受信ファクスを選ぶ**



・受信FAX一覧が表示されます。

・８件目以降は ◎ を押して表示させせます。

2 ◯ コピー/印刷 **を押す**

・プリントを開始します。プリントした受信ファクスはメモリーから消えます。

■ **途中でやめるときは**

停止 ◯ を押します。

■ **表示中の受信ファクスをプリントするときは**

① 表示中に ◯ コピー/印刷 を押す

② すべてのページをプリントするときは [1あ]、表示中のページのみプリントするときは [2か] を押す

■ **プリント中にインクリボンがなくなったときは**

受信した内容はメモリーに残っていますので、プリント中の記録紙を取り出してから、インクリボンを交換（☞23～25ページ）してください。

■ **受信FAX一覧の見かた（☞81ページ）**

お知らせ

●プリント中は、子機で電話をかけたり受けたりすることはできません。

消去する

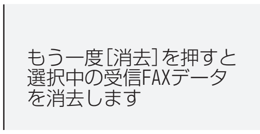
メモリー受信したファクスを、受信FAX一覧から選んで消去することができます。

1 見てからプリント ◯ **を押し、◎ で消去したい受信ファクスを選ぶ**

・受信FAX一覧が表示されます。

・８件目以降は ◎ でカーソルを移動して表示させます。

2 キャッチ/消去 ◯ **を押す**



3 もう一度 キャッチ/消去 ◯ **を押す**

・選んだ受信ファクスが消去されます。

4 停止 ◯ **を押す**

■ **途中でやめるときは**

停止 ◯ を押します。

■ **確認済みの受信ファクスを消去するときは**

・待受画面で キャッチ/消去 ◯ [4た] [2か] と押します。

・受信FAX一覧で ◯（確認済消去）を押します。

■ **すべての受信ファクスを消去するときは**

待受画面で キャッチ/消去 ◯ [3さ] [2か] と押します。

■ **表示中のページを消去するときは**

キャッチ/消去 ◯ を2回押します。